

地方史情報 126

2015年10月

アワシマ信仰

有安 美加

「ある日、見慣れない者が歩いてくるのを見た。白装束の小袖にたっつけ袴、手甲脚絆に草鞋履きで、箱のようなものを背負って、何も売らず、何も言わず、足早に通り過ぎようとしていた。背の高い男性だったが、その髪は伸び放題の汚れた蓬髪で、装束も汚れていて、正視に堪えなかった。何よりおののいたのは、その箱のようなものに、髪の毛の束や布の切れ端が、ところかまわずぶら下がっていたことだった。筆者はまだ就学前の子供だったが、あまりの異様さに血の気が引き、その去っていく後ろ姿や風景が、青く見えたのを憶えている。あれは一体何者だったのか…。」

「筆者がアワシマ研究に関心をもって、まず先行研究論文等を読み始めたのは、2001年であった。「アワシマ信仰は住吉妃神の境遇に自己を重ねて悲嘆にくれる女性たちのもの」というだけなのか？という疑問が、筆者を動かした。ともかく淡島・粟島神社に関して、まず150件のデータを集めた。ほとんどが通説と違う由緒や祭神だったため、これは実態をきちんと調べて、しかるべき専門研究者の成果という形で世に問うべきと決意し、大学院に進学し、学会発表や論文投稿等をしてきて、本書の下敷きになった博士論文を書いたのは2012年のことであった。

最後の現地調査で訪れた福島では、かつてのアワシマ講は、共同飲食や夜明かしが女性たちの楽しみであったという。他所から来た嫁同士が、気が置けないつながりをもてたことは、アワシマ信仰のおかげだったにちがいない。そこで裁縫や料理の技芸や子育ての知恵なども伝えられた。けれど、その場に不妊・出戻り・嫁かず後家の女性は入りづらかったであろうことも想像がつく。女郎に売られた女性にとっては、若嫁の集いなど望むべくもなかった。それどころか、婚姻とは対極の売春で得た性病の治癒を、ひそやかにアワシマ様への祈禱にすがるしかなかった。病はさまざまな領域境界を超越し、誰にも似たような不幸をもたらす。とはいえ、本書で述べた可視・不可視のアワシマ信仰の違いは、女性の中にある階層性や疎外構造を反映しているのである。このことを無視して、一括りに「女人救済」と捉えることは誤りといえよう。

本書はアワシマ信仰の歴史的変遷を明らかにして、俗説による女人救済信仰としてのあり方は近來のものであることを明らかにした。俗信アワシマ信仰が最も盛んであった時期は性病が蔓延した時期と重なり、医科学の進歩とともに祈願の内容が変わっていったのは、むしろ歓迎すべきであろうし、いつか消滅するのかもしれない。」

（有安『アワシマ信仰』2015.8、小社刊「序章・はじめに」「あとがき」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆屯田 北海道屯田倶楽部
〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 年2000円 1985年創刊
www.2ocn.ne.jp/~history/
◇56 2015.4 B5 80p 1000円
巻頭言 学びの変遷—情報の正確
さと史実の信憑性 後藤 良二
子思孫尊 屯田兵屋を守り続けて
旭川屯田兵三世・武田瑛子さん
中神 哲二
屯田子孫の私記 玉置 和宏
屯田兵のデザイン考 永山兵村の
ネズミ落とし（旭川市・北鎮記
念館）
北海道の農業と教育の礎 屯田兵
開拓の真相と屯田学校（下） 若林 滋
北海道移民史を語る旅（3） 三泉
一局時代と特殊な移住例（屯田
兵）の概要 混迷の時代を迎え
て 北国 諒星
一節抜粋 棧比呂子著『評伝 月
形潔』北海道を拓いた異色の
福岡藩士・熊谷正吉著『改訂
樺戸監獄』樺戸監獄抜きには
語れない開拓史 （O）
古地図の散歩道 「奉天附近会戦
経過図」 明治38（1905）年・本
多直次郎編『日露交戦録奉天附
近大会戦』より
塹壕戦線17日間の軌跡 梶田 博昭
表紙から 『敵中横断三百里』 昭

和11年刊少年倶楽部附録 著・
山中峯太郎 画・樺島勝一、梁
川剛一
歴史の中の馬と屯田兵（上） 江口 憲人
追想を誘う黒田清隆展 新琴似中
隊長襲撃事件の闇に迫る 後藤 良二
図説 北海道屯田兵制度（7） 屯
田兵の配置と農耕地積との図
明治36（1903）年度 空知、上川
など屯田兵入植地で開削が先行
北海道博物館の開館について
開拓と記念の文字が消える 芦原 高穂
北海道旗の原図「北辰旗」を考案
蛭子末次郎の足跡と業績 武石 詔吾
屯田兵ルーツ情報 「ナゾの捕虫
器」 琴似屯田兵2世が性能検査
コラム「フロンティアが誘う歴史
ロマン」（K）

◆文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
hokkaido-bunkazai.jp
◇349 2015.5 B4 4p
戦後七〇年を迎える文化財保護活
動の今後の展望について 越田賢一郎
平成27年度通常総会・文化財講演
会等の日程について
国指定重用文化財 豊平館修復
（途中経過） 田村 拓未
北海道・北東北の縄文遺跡群
世界遺産登録推進地の近況
北海道教育庁文化財・博物館課

松浦武四郎・郷土史研究家
秋葉実さんの逝去を悼む 舟山 廣治
旭川市の文化財マップと文化財の
見所について 友田 哲弘
新たな国及び道指定文化財 国指
定重要有形文化財北海道松法川
北岸遺跡出土品（羅臼町）、道指
定有形文化財北海道家庭学校礼
拝堂（遠軽町）
東日本大震災復興4年目特別展
（東京国立博物館）を視察して 山田 大隆
衣文化シリーズ
一作業着 ドンザについて 駒木根恵蔵
オホーツク海にかけるロマン
一司馬遼太郎さんを語る （U・N）
『新古前町史』発刊と「琴平宮（神
社）資料」の町文化財指定 関 秀志

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 1991年創刊
http://hoppohm.org
◇97 2015.6 A4 4p
表紙 木製なめし具 コリヤーク
ロビー展 進藤冬華作品展
鮭のウロコを取りながら 山田 祥子
ロビー展 こだまみわこ作品展
木版画 北の自然と暮らし 山田 祥子
講習会 はじめての木版画
講師：こだまみわこ氏 山田 祥子
講座 日本の国立博物館 講師：
内田祐一氏 笹倉いる美
第30回特別展 森と川の精霊とと
もに ロシア・アムール地方の
アート&クラフト

◆東奥文化 青森県文化財保護協会
〒030-0111青森県青森市荒川字藤戸119-7
青森県立図書館内 年4000円 1955年創刊
◇86 2015.5 A5 79p
表紙説明 日本最古の木造ビザン
チン様式教会 秋田県有形文化
財（建造物）北鹿ハリストス正
教会曲田福音会堂
平成26年度青森県文化財保護行政
について 青森県教育庁文化財保護課
総会特別講演 近世弘前藩領にお
ける商船の建造動向 石山 晃子
地方史研究発表会 特別講演
青森県の食文化について 成田 敏
中世南部氏と周辺領主—南部桜庭
合戦と南部晴政・東政勝書状 滝尻 侑貴
ホタテ養殖の先覚者—豊嶋友太郎
鬼柳 恵照

古文書解読活動の現状—本家と分
家の漁師紛争「野内番所御用留」
から 鬼柳 恵照
事務局だより 一年の歩み 川村 眞一
◇特集号 2015.5 A5 61p
《創立60周年 東奥文化特集号》
創立60周年記念特集号に寄せて 盛田 稔
本協会今までの活動状況 川村 眞一
青森県文化財保護協会歴代会長
青森県文化財保護協会の歩み
青森県文化財保護協会出版
みちのく双書・特輯の概要
会員の著書・論文
『東奥文化』平成17年からの目次
と表紙
県内市町村における文化財審議会
活動の調査結果

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34

岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊

◇263 2015.6 A4 8p
遺物が語る郷土の歴史「山屋館
経塚 常滑産三筋文壺」(県指定
有形文化財) 鎌田 勉
親の世代、子・孫の代 金野 静一
文化財の保護と公開活用 斎藤 邦雄
博物館展示物の意義 中山 敏
岩手の芸能と地域と学校—H26郷
土芸能教育実施状況アンケート
調査より 川口 明子
世界遺産平泉の明日 千葉 信胤
被災地の発掘調査現場から(2)
沢田III遺跡

◆道鏡を守る会通信 道鏡禅師を知ろう
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方 TEL0229-22-7364
年3000円

◇2015-4 2015.4 A4 8p
本会は守る会30年
守る会30年主な事項(作成:本田)
伝承・伝聞・実際(本田記)
道鏡禅師の貢献及び道鏡禅師に
罪過がなかったこと/道教禅師
の人格
みちのくの仏像展見学(2月18日
本田記)
守る会事務局へのおたよりから/
困りますよね

◇別冊 2015.3 A4 2p
《3.11後の今》
そのウワサは本当だった お詫び
します/閑上~荒浜~蒲生/み
ちのくの仏像展 国立博物館で
/5年目の3.11に/大川小一絶
えることのない悲しみを耐え

◇別冊 2015.4 A4 2p
《3.11後の今》
私の学びなおし 映画『日本と原
発』で/チェルノブイリの教訓
は?/復興支援はさまざまに

◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター
上廣歴史資料学研究部門ニューズレター
〒980-8576仙台市青葉区川内41
TEL022-795-3196 2013年創刊
http://uehiro-tohoku.net

◇3 2015.4 A4 8p
歴史資料保全の国際化と歴史資料
の定義をめぐって考えたこと 高倉 浩樹
歴史資料保全活動
白石市渡辺家文書の整理と活用
荒武賢一朗
地域の宝物—利府町の事例から
荒武賢一朗
一関市金家文書保全活動 高橋 陽一
被災資料の修復活動 友田 昌宏
史料保全活動と古文書との出会
い 福田 宏子
講演会
公開講演会 川崎のほこりーふ
るさとの歴史と文化 高橋 陽一
シンポジウム 東北の名所—松
島・塩釜のあゆみ 高橋 陽一
公開シンポジウム 宮城発・自
由民権運動再考 友田 昌宏
講座:地域の歴史を学ぶ◎岩出
山 城—その知られざる歴史
友田 昌宏
古文書講座
世界に広がる「kuzushiji」研究
荒武賢一朗
シカゴ大学くずし字ワークショップ
ップに参加して ミッシェル・デミアン

みちのくの文化を読み解く
—東北大学での古文書講座 高橋 陽一
古文書を読む会・感想文
アリシャ・キャンベル
「蔵の町」で古文書を読む
—村田町古文書講座 高橋 陽一
講座で解説した古文書が本に!
—岩出山古文書を読む会中級
講座 友田 昌宏

◆とりら
ふるさと岩手の芸能とくらし研究会
〒020-0113岩手県盛岡市上田堤2-22-5
飯坂方 TEL019-662-4513 2007年創刊
www.h3.dion.ne.jp/~iwagei/torira.htm

◇8 2015.4 B5 34p 500円
いわて芸能ごよみ 2015.4~10
「おまつりだ〜!」 大浦虎舞と私
小林真美子
南部神楽 その謎解きの魅力 鈴木 雄二
なもみがやって来た ヤァ!ヤァ
!ヤァ! 瀧音 幸司
早池峰神楽の道具考 吉田 隆一
小形信夫はいいことを言う 飯坂 真紀
表紙解説 鵜鳥神楽 岩泉町安家
にて 撮影・文 飯坂真紀
森口多里フォトギャラリー(7)
吉浜スネカ 三陸町(現大船渡
市三陸町) 1958.6.6 (岩手県立
博物館・森口コレクション)

◆東北文化研究室紀要
〒980-0862仙台市青葉区川内
東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇56 2015.3 B5 61p
伝統的価値観の国際比較—日本、
韓国、中国、米国における仏教
的価値観 大淵 憲一

仙台市における依存症支援のネッ
トワーク形成史—T病院と自助
グループの協働関係に注目して
泉啓/若林真衣子
新春のノベルティにおける福祥の
イメージ—岩沼で配布された正
月用引札 小田島建己
2014年度 東北文化研究室講演会
東北大学文学研究科発の被災地
支援活動 木村 敏明
2014年度東北文化公開講演会

◆秋田近代史研究会会報
〒010-0852秋田市手形学園町1-1 秋田大
学教育文化学部スポーツ・健康教育研究室
森田信博方 TEL018-889-2574

◇169 2015.4 A4 2p
2015 春季研究会のお知らせ
会員近況/『公文書機能ガイドブ
ック』刊行/会員の皆さまへ

◆古文書倶楽部 秋田県古文書館
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301
www.pref.akitaig.jp/koubunsyo/

◇64 2015.4 A4 2p
献上物に見る元朝の心
—「岡本元朝日記」から 柏倉 良明
古文書こぼればなし 史料のウラ
をとる、ウラをよむ 金森 正也

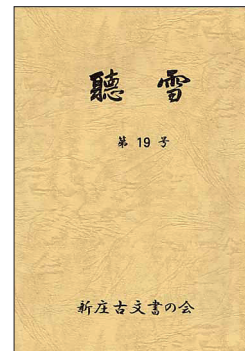
◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇84 2015.5 B5 81p
提言

菅江真澄の国際化に向けて	小笹 鉄文
現代語訳『菅江真澄遊覧記』テ	
キスト型学習会考	高橋 一夫
「おしらがみ」(於『栖家能山』)	
随想	金沢 大士
真澄が記録した彌彦神社の舞楽	菊地 利雄
菅江真澄の執筆態度における他国	
者の視点	金児 絃征
江戸幕府の採葉使と菅江真澄	小野 努
菅江真澄が下北の旅で詠んだ言葉	
遊びの和歌について	清水川 修
菅江真澄の採集した仏師伝承一運	
慶または雲慶を導入に代えて	星野 岳義
『ひなの一ふし』にみる民謡の源	
流と変遷(完)	菊地 利雄
連載 真澄の一枚(16) 痘瘡の幼	
児を養う乞食／垣根をめぐらし	
た疫病の家、日の玉 『粉本稿』	
より(大館市立中央図書館提供)	
	菊地 利雄
真澄短信 仙北地域の真澄足跡地	
図を作成／「菅江真澄と北国の	
椿」講演会／「大屋の梅」苗木	
植樹／真澄の図絵「小勝田埋没	
家屋」を紹介 秋田さきがけ一	
ふるさと小紀行	
◆北方風土 北方風土社	
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野	
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027	
1980年創刊	
◇70 2015.6 A5 181p 2000円	
70号刊行に寄せて	森本 彌吉
わらべうたの発生と展開(2) 二、	
歳時歌「虫送り」一人形呪術	
その一(承前)	本城屋 勝
秋田領民の伊勢参宮次第	神宮 滋
雪のことは辞典(上)	稲 雄次

菅江真澄の採集した公家伝承	
一花山院忠長を導入に代えて	星野 岳義
二つの村をつなぐ秋山姓一男鹿	
「門前村」と小田原「風祭村」	石山 憲二
那珂通高、通高父子の幕末・戊辰	
戦争そして明治一松陰、湖南等	
とりまく群像 東北諸藩の苦悩	
	那珂 通義
続・南部氏の双鶴紋成立の疑惑一	
癪病と月山神社の関係を忘れて	
	松橋 由雄
百家風発 千秋文庫所蔵の「鳥海	
山記並銘」	神宮 滋
史料編 進藤貞吉著『道中記』(4)	
(解説・翻刻・注記・編集)	相馬 登
◆聴雪 新庄古文書の会	
〒996-0084山形県新庄市大手町2-65	
大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊	
◇19 2015.6 B5 136p	
巻頭言 渉猟の一步	梁瀬 平吉
私の古文書散歩(5)	
「壺丈肥餅」・沓沢幸右衛門さん	
のこと	大友 義助
片岡騷動(その1)	
『古老覚書』より	大友 義助
入門講座の学習	
新田家文書「寛永七年の『條々』	
(領民支配のための基本的	
法令)」(解説 大津純一・	
大伴寿美代・阿部一・武田	
晴美・早坂武昌)	
解説	土屋 道郎
荒川家文書「神君乃秀忠公御臺	
所江之御書」(解説 箱山	
伶・富士ちのり・沼沢美恵	
子・高橋正則・伊豆倉公子・	
神崎清次・小関清純)	

解説	伊藤 勉
中級講座の学習	
古瀬本「古老覚書 二」(その3)	
(解説 沓沢正昭・梁瀬平	
吉・成澤清久・杉原實)	
解説	大友 義助
古瀬本「古老覚書 参」(解説	
佐藤周一・矢口實・荒川輝	
夫・大場英一)	
解説	大友 義助
古瀬本「古老覚書 四」(その1)	
(解説 佐藤寿也・矢口三	
直・大山昭徳)	
解説	大友 義助
最上地方における伝統的漁法	大友 義助
「新庄古文書の会」26年の歩み	大場 英一
羽黒山と加藤清正公周終焉の地を	
巡る	大泉 友子
高橋秀弥氏・梁瀬龍夫氏のご逝去	
を悼む	大友 義助
一粒一滴	
「り」を「まいらせ候」と読む	大友 義助
新庄の地名「宮内」	大友 義助
ごよ	大友 義助
苗木杉・苗木栗	大友 義助



* 同会の取り組みについて、「後記」で触れる。

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報	
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8	
須崎寛二方 TEL0238-43-5299	
◇206 2015.4 B5 10p	
竹原・龍雲院の『絹本着色釈迦十	
六善神図』(三幅一對)について	須崎 寛二
台林院の財力	
一熊野大社史おぼえ書45	須崎 寛二
第228回学習会	
◇207 2015.6 B5 10p	
金山村・菅野佐次兵衛家の商業活	
動(上)一南陽市古文書解説入門	
講座から	須崎 寛二
松坂世紀記念財団の奨励賞を受賞	
第229回学習会から	
◆まんだら 東北文化友の会会報	
東北芸術工科大学東北文化研究センター	
〒990-9530山形市上桜田3-4-5	
TEL023-627-2168 年5000円 1999年創刊	
blog.tuad.ac.jp/tobunken/	
◇57 2015.5 B5 28p	
公開講座講演録 縄文の美一実用	
性を遙香に超える芸術的表現 安斎 正人	
特集 遺跡を掘り深める一日向洞	
窟遺跡発掘調査	
はじめに	長井 謙治
発掘調査を経験して	
一2014年度参加学生の	
声 上級生として考え、行動	
する	亀山絵莉香
調査の着実な進展を感じなが	
ら…	塚野 聡史
体調管理は誰のため?	島貫ひより
分野を越えることで見えたも	
の	栗原 典子
むすびに	長井 謙治

絵はがきピッチピチ小説02 井筒 桃子
 フィールドの風 下北の原野に刻
 まれた戦後開拓村の歩み 蛸原 一平
 フィールドワークの現場から
 鮎立調査（宮城県気仙沼市唐桑
 町） 鈴木彩也花
 フィールドワーク特別演習（山
 形県西置賜郡小国町五味沢）本間結希乃
 INFORMATION 「ブックレッ
 ト〈むらの記憶〉2 下北半島野
 平一写真にみる戦後開拓村の歩
 み」を刊行

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会
 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3
 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306
 1965年創刊
 ◇45 2015.3 B5 88p
 伊達領分田村の片倉景綱預り 高橋 明
 薩摩前司祐長の子孫 渡部 芳雄
 郡山市の中世城館(11) 広長 秀典
 郡山町(宿)の櫛形について 大河 峯夫
 石川町におけるキリスト教伝道百
 年の歩み・戦前編 須賀川福音
 教会石川講義所史および日本福
 音教会石川幼稚園史 庄司 一幸
 史料紹介 守山藩の御境杭につい
 て 大河 峯夫
 平成26年度史跡巡りに参加して 宇佐美栄子
 「公文書館の設立に関する陳情書」
 について

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
 〒960-8116福島市春日町5-54
 TEL024-534-9193 2002年創刊
 www.history-archives.fks.ed.jp
 ◇42 2015.6 A4 4p
 往昔を偲ばせる「飯坂真図」と南

部精一の軌跡 飯坂真図（齋藤
 文郎家文書(その三)141） 小野孝太郎
 永代橋崩落の難を逃れた上飯坂の
 甚九郎 渡邊 智裕
 江戸時代の庶民の生涯費用 小野孝太郎
 発掘調査と地籍図 安田 稔
 阿武隈川流域の調査 佐々 慎一
 アジア太平洋戦争下の回覧 渡邊 智裕

関 東

◆茨城史林
 茨城地方史研究会（発売：筑波書林）
 〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14
 年3000円 1972年創刊
 ◇39 2015.6 A5 112p 1019円
 茨城地方史研究会の新たな発展に
 向けて 久信田喜一
 古代常陸国河内郡真幡郷について 久信田喜一
 水戸藩と能 河野 弘
 新知郡瓦谷村小河原家の蔵書と白
 井教美の周辺 近江 礼子
 水戸藩芹澤家について あさくらゆう
 太平洋戦争総力戦体制下の青少年
 の勤労動員―茨城県下の中等学
 校を中心として 栗原 亮
 史料調査班調査報告 銚田市田山
 家文書・水戸市小瀬家文書の調
 査 久信田喜一

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
 〒304-0056茨城県下妻市長塚乙77
 TEL0296-43-3418
 1976年創刊
 ◇40 2015.5 A5 154p
 ノーベル賞 稲見 隆
 伝統を引き継ぐ 圓城寺賢一
 肢体不自由教育への思い 大関 毅

昭和九十年 横堀 孝徳
 子ども読書のすすめ 大山 紀男
 国登録有形文化財 江連用水旧溝
 宮裏両樋の概要について 赤井 博之
 「自然との共生・共創」市村緑郎先
 生を悼む 鈴木 賢一
 市村緑郎氏の訃報に接して 千勝 弘巳
 級友(緑さん)のこと 荒川 尚
 上高地の四季(2)
 一わが青春のふるさと 外山 崇行
 「下妻の文化」40年
 昔話は元気の素 島田 武男
 寸草の思い 近藤 久雄
 所感アラカルト 野中 周一
 下妻再発見「協働のまちづくり市
 民会議」に関わって 國府田 晋
 奉仕活動を通して 須藤 豊次
 下妻のスポーツ 中村 義雄
 「宗任神社縁起」考 塚越 節
 倉橋島の多賀谷氏について 佐久間秀樹
 私の青春 出浦 智枝
 わが家の銀杏樹の伐採問題を考え
 る 羽子田長門
 梨泥棒 鈴木 賢一
 小貝川の思い出 柴 淳市
 継続は力 柳 操
 残された人生いきいきと 水越 静江
 活動のあと(平成26年度) 各 団 体
 研修視察記 佐野市郷土資料館・
 田中正造旧宅・とちぎ山車会館
 ・山本有三ふるさと記念館 粉川 孝
 一年のあしあと 寺田 陽子

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会
 〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1
 茨城大学人文学部 高橋修研究室
 TEL029-228-8120 2013年創刊
 ◇3 2015.3 A5 172p 500円

陸奥との物流からみた平将門の乱
 ー征夷戦争を前提にして 内山 俊身
 特集 遺跡と史料が語る土豪たち
 の中世
 那珂市中世城郭遺跡分布・縄張
 調査報告(1)ー菅谷地区
 茨城大学中世史研究会
 那珂市菅谷地区中世城郭遺跡関
 連史料 高橋 裕文
 常陸太田市来迎院所蔵大般若経
 調査報告(1) 茨城史料ネット
 史料紹介 水戸藩家老の家に伝わ
 った中世文書―「水戸鈴木家文
 書」の紹介 藤井 達也
 時評 常陸大宮市文書館の開館 高村 恵美
 紹介 田中裕編『常陸国那賀郡家
 周辺遺跡の研究』

◆長塚節の文学 長塚節研究会
 〒300-2707茨城県常総市本石下4639
 TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
 ◇21 2015.4 A5 69p 1000円
 長塚節、丹波・丹後の旅の歌 山形 洋一
 新発見の歌「人の紅葉狩」 橋本 俊明
 「病中雑詠」「鍼の如く」に学ぶ
 ー生き方、死に方、過ごし方 桐原 光明
 長塚節が学んだ明治の尋常中学校
 飯島 雅行
 節の俳句 試験後・稲妻・火桶 成井 恵子
 鴉外の「手作り」による森類への
 チョコレート箱の時間割表ー肖
 像写真の西欧女性の考察(後) 松野 高久
 国生百年 金沢七年 安田 暁男
 自然療法、温泉療法からみた長塚
 節(前) 岩渕 憲弥
 てる子への思いを歌に託して 飯塚 知子
 節の弟 長塚整四郎について 河合 宏

◆史 談 安蘇史談会

〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎 氏0283-24-3232
年2000円 1985年創刊
◇31 2015.5 A4 241p
口絵写真説明 国指定重要文化財
「出流原遺跡第一号墓坑 顔
面付土器」 (永島)
巻頭言 消えゆく伝統行事
ーそして昭和も遠くなった 京谷 博次
星宮紀行(1)
「磐裂神・根裂神」とは何か 川田 春樹
史料紹介 高瀬家文書所収の上杉
輝虎(謙信)文書について 鴨志田智啓
田中正造の人民観(1) 関根 徳男
かつ子さんと正造さん(2) 田中
正造翁の書簡に見る正造翁と夫
人カツさん 廣木 雅子
石塚村五人組書上帳に関連の彼は
一大声議家文書より 黒田 哲哉
日本赤十字社々長伯爵佐野常民と
別格官幣社唐沢神社の創建 大高八三郎
須永文庫とゆかりの地 大川 圭吾
佐野の伝統産業ー佐野綿縮・野州
瓦・吉永漆器について 大芦 義男
「軍馬碑」調査報告(旧田沼町・旧
葛生町) 小松原圭一
史料紹介 廻国宿帳一六十六部道
観法師の旅日記 京谷 博次
「お楽の方」と「岩船地藏」 永島 正夫
鷹場組合(霞組合)についてー鷹場
役人の横暴と鷹野役の経済的負
担について考察する 海老原脩治
茨城県境町・かすみがうら市の郷
土資料館を見学して 篠崎 澄子
弘道館・天心記念五浦美術館・勿
来へ 篠崎 澄子
シンポジウム「戦国時代は関東か

ら始まった」参加と「六面塔」
(埼玉県小川町)視察について 海老原脩治
初詣と八千代史談会との交流会参
加について 永島 正夫

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市陸町2-2
栃木県立博物館内 氏028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇95 2015.4 A4 4p
《特集 資料編纂と資料保存の現在》
あらためて地域史資料の保存活用
問題を考える 阿部 昭
歴史探求の広がり と深まり 高山 慶子
学校資料の行方 富田 健司
民俗資料保存の現在 篠崎 茂雄

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方 氏027-251-7660 1989年創刊
◇88 2015.4 B5 10p
館林の自然と地名 澤口 宏
平成26年度事業報告／平成26年度
収支決算報告／平成27年度収支
予算／監査報告／平成27年度事
業計画

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 氏027-221-2346
1993年創刊
◇44 2015.5 AB 36p
《みどり市旧笠懸町・太田市・旧藪塚本町
地域特集》
歴史を掘る
下宿遺跡出土の爪形土土器 中村 渉
巻頭言 文化財保護の歩みと私 佐々木正直
第22回 石川薫記念地域文化賞

特別功労賞 横山巖／功労賞
今井幹夫／研究賞 山本世紀／
奨励賞 和田健一
発掘情報 元屋敷遺跡 萩谷 千明
図録 ぐんまの文化財 旧笠懸町
・旧藪塚本町の文化財 萩谷 千明
ぐんまの歴史入門講座
第160講
笠懸・藪塚地域の原始・古代 萩原 研一
第161講 馬見岡凝灰岩と天神山
凝灰岩採掘跡 萩谷 千明
第162講
足尾銅山街道と笠懸野開発 遠坂 純伸
第163講 阿左美東貯水池築造を
めぐって 福田 博美
第164講 旧笠懸町・旧藪塚本町
の石造文化財 石造文化財の
見方(33) 秋池 武
古文書解説入門講座(31)ー古文書
から歴史を読む 溜井灌漑の村
の水不足 今村 和昭
地域づくりと文化遺産 岩宿遺跡
と博物館でのボランティア活動 小菅 将夫
ぐんまのくらしと民俗
扇状地の開墾と農業 永島 政彦
ぐんまの川と生活 澤口 宏
ぐんまの人物誌 豪商 伏島近蔵 半田 勝巳
ぐんまの郷土芸能 横町太々神楽
(みどり市指定重要無形民俗文
化財) 平塚 貞作
ぐんまの地名 久宮 小菅 将夫
研究・学習サークル活動紹介
かさかけ郷土史会 三輪 延也
出版情報 地域大間々扇状地(旧
笠懸町・旧藪塚本町)地域の刊

行物紹介／岩宿博物館の刊行物
ぐんまの自然と風土
解明が進むオシドリの生活史

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
氏027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www.l6.plala.or.jp/kuzira226/

◇239 2015.5 A5 56p
楫取素彦に関する県内歴史散歩か
ら考えたこと 井野 修二
山崎一『群馬県城館址調査の手引
き』(9) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
高山彦九郎日記による歴史散歩
(48)『北行日記』(7) 正田 喜久
軍師官兵衛と伊井直政 西原 巖
戦後開拓地の白河と千振を訪ねて 東宮 春生
釈迦生誕の地「ルンビニ」へ
ー凡慮の旅 新井 通代
れきさんサロン 新刊紹介 小林
生子著『ぐんま絹遺産 絵手紙
めぐり』、『花地藏 365日』 山崎 正

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1980年創刊
◇36 2015.3 A5 165p
近世上野国における里修験の官位
と衣体 時枝 務
「新抄格勅符抄」にみえる寺院食
封と上野国 関口 功一
近世における安中地域の構造的
特質 小嶋 圭
産泰信仰の変容の事例ー群馬県多
野郡神流町の産泰講 大淵 幹生
定着した春駒と地域社会ー群馬県
川場村門前地区の「春駒」が担

う役割 西川 桂史
沼田藩真田氏の林野支配
一利根郡の場合 藤井 茂樹
養蚕における労力構成とその変化
一群馬県安中市の事例から 堀江 僚
初絵の図像と初絵売り習俗一群馬
県多野郡上野村と旧万場町を中
心に 鈴木 英恵
書 評
関口功一著『古代上毛野をめぐ
る人々』 時枝 務
落合延孝著『幕末維新を生きた
人々―吾妻郡の農民たちの記
録から―』 岡田 昭二
養蚕文化を知るための写真集―
『角田新八写真集お蚕さま物
語―信仰と営みの記録―』を
読んで 板橋 春夫

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊

◇142 2015.6 B5 4p
真田氏沼田藩の万治元年検地帳 藤井 茂樹
旧万場町産泰講及び火伏せ精進見
学記 大淵 幹生
第103回例会記事 伊藤茜氏「屋
敷祭祀とホウエン―群馬県利根
郡川場村における里修験の宗教
活動を事例として―」（伊藤）、
須藤聡氏「中世前期佐貫一族の
再検討―周辺武士団との関係
―」（須藤）

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5
大圖口承方 TEL049-281-4983
年4000円 1929年創刊

◇320 (62-1) 2015.5 A5 46p
男衾郡小泉郷について 四方田 悟
「長享番付」の検証(4)
一札所三三ヶ所時代の順路 千嶋 壽
畑時能と関係古文書(2)
一主に三つの古文書を中心に 村田 嘉行
埼玉における石碑石工と幟につい
ての一考察 石井 昇
大宮郷の郷名について(2) 栗原 一夫
資料紹介 絲舗奥貫家墓誌 佐藤 繁
表紙写真解説 本庄市小島共同墓
地 寛永拾年(1633)宝篋印塔
口絵写真解説 剣客秋山要助正武
の墓(佐野市・興福寺所在)
例会報告 第658回 旧中山道浦
和宿見学／第659回 川越市河
越館他見学／第660回 会員研
究発表会

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www.3onc.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html

◇154 2015.6 A5 64p 2000円
巻頭随想 石仏への視線の多様さ 坂口 和子
《特集 石仏探訪ⅩⅢ》
印西の十九夜塔と子安像塔探訪 蔵 由美
須磨の一石五輪塔 井上 勇
泰清院涅槃石造をめぐる 殿南 直也
佐賀県多久市南多久町の石仏めぐ
り 中野 高通
修那羅山の石像群を訪ねて 岡田 均
公害の記憶を繋ぐ地蔵
一阿賀の水俣地蔵と旅地蔵 渡邊三四一
あ・ら・か・る・と―私の石仏案内
薬師如来の眷属 石川県川北町

土室 土室栗島神社 滝本やすし
千体不動尊 群馬県太田市安養
寺町 明王院 中森 勝之
はがき通信 佐野英三／新井るい子
誌上講座
石仏入門(9) 虚空蔵菩薩 門間 勇
名号塔の知識(20)
但馬地方の名号塔 岡村 庄造
「石」を知る(43)
三重の「石」 小松 光衛
石仏写真と私(43) プロ写真家
の石仏との関わりが興味深く
て… ゲスト金子治夫さん 杉本 康希
会員の広場
個人ブログと三重県伊賀市腰山
の農耕神碑 正富 博行
「穴太衆積み」の歴史と石垣の
魅力 黄瀬 三朗
路傍の石仏の行方 岡田 均
「マイマップ」の紹介 大畠 洋一
下田街道の石仏を訪ねて 川口 春代
日本石仏協会主催 第105回石仏
見学会報告 東京都吉祥寺周辺
の石仏・彫刻・文学 荒井 浩幸
コラム
長野・万仏岩と大日如来 田中 英雄
長野・湯ノ丸地藏峠湯道の准胝
観音と迦楼羅 田中 英雄

◆野外研ニュース 野外調査研究所
〒363-0025埼玉県桶川市下日出谷925-155
TEL048-786-0225 http://yagaiken.or.jp
◇36 2015.6 A4 16p
第3回コムナーレ・フィスティバ
ルで「ジオパーク秩父」支援事
業 高原 勇夫
イワタザクラの調査すすむ 野村 静男
関連情報 栃木県博で桜の企画展

桜～野生のサクラいろいろ～
希少植物「タマノカンアオイ」の
増殖 石井 則孝
深谷市の水田にナベツル飛来 藤波不二雄
桶川飛行学校の保存への動き 桶川市自治文化課
資料紹介 愛知県刈谷市の龍勢(1)
「刈谷市庄屋留帳」 杉山 博
お知らせ
市民交流講座「海外の世界遺産
に触れる感動の旅!」 岡本 浩
さいたま支部企画展示・講座
「荒川流域の自然と古代遺跡」 高原 勇夫
第3回「山田湾まるごとスクー
ル」開校 鈴木 正博
「第1回 翡翠フォーラム in 朝
日町」の開催について 藤田富士夫／春山正樹
出版ニュース 野外研叢書 第6
集、第7集 あいついで出版』
『関東条里の研究』の出版について 吉川 國男
出版ニュース―秩父特集 吉川 國男

◆我孫子市史研究センター会報
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/
◇157 2015.4 A4 12p
歴史探訪部会3月例会
相馬霊場の札所参り(6) 中川 健一
古文書火曜部会3月の活動 文化
年間歓喜丸漂流民帰国の顛末 金成 典知
我孫子市柴崎のオビシヤ 近江 札子
井上基家文書の研究
質地証文(16) 小括1 清水 紀夫
井上家文書研究部会3月の活動 長谷川 一

合同部会3月の活動 中澤 雅夫
 歴史部会『字誌』2月の活動 関口 一郎
 歴史探訪部会3月の活動 長谷川秀也
 ◇158 2015.5 A4 10p
 探訪『白樺派の我孫子での足跡を訪ねる』 歴史探訪部会4月の活動 長谷川秀也
 歴史探訪部会6月の活動予告
 『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪ねる』出版記念 歴史探訪部会5月主催「相馬霊場の札所参り6」
 井上基家文書の研究 質地証文(17) 小括2／井上基家文書の研究 質地証文(18) 小括3 清水 紀夫
 井上家文書研究部会3月の活動 長谷川 一
 合同部会4月の活動 長谷川秀也
 古文書日曜部会レポート 山崎 章藏
 古文書火曜部会4月の活動 丹羽 鼎

◆東邦考古 東邦高等学校考古学研究会会誌
 〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
 東邦大学附属東邦高等学校内
 TEL047-472-8191 1963年創刊
 ◇39 2015.3 B5 128p
 研究ノート 千葉県内の竪穴式住居跡の面積(24) 東邦考古学研究会
 古記録に見る君津地方の古墳調査(2)一大正期より昭和戦前期を中心にして 酒巻 忠史
 伊藤音次郎と「伊藤飛行機研究所」 坂井 元昭
 「全国高等学校考古学フォーラム参加記録」 東邦大学理学部構内に日本初の騎兵兵舎が現存 東邦高校考古学研究会が周辺確認調査 伊東雄也／山岸良二
 講演会記録 ガーデンプラザ新検見川講演会 世界遺産を目指す

千葉の貝塚 山岸 良二
 オールウェズ 大久保今昔物語(4) 一坂井斎さんの聞き書き 山岸良二／山西愛子
 オールウェズ 大久保今昔物語(5) 一渡辺貞雄さんの聞き書き 史の会 鎌田／山岸良二
 2014年度 東邦考古学研究会合宿 公式記録 柳澤佑乃輔
 受贈・交換文献一覧 東邦考古学研究会
 追悼文 2人の偉大な考古学研究 者を悼む 江坂輝弥先生・水野 正好先生を偲んで 自分の考古学遍歴を振り返りながら 山岸 良二

◆房総石造文化財研究会会報
 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
 石田年子方 TEL04-7196-3375
 年3000円 1980年創刊
 ◇125 2015.4 B5 14p
 原風景の中に佇む印旛沼周辺の石造物を巡って 大木 英雄
 木更津の石造物(7) 庚申塔と石工(2) 稲木 章宏
 会員寄稿 富津市の富士講石造物 藤平 俊雄
 東京理科大学野田校舎のヤマザクラと山神宮 新保 國弘
 石仏紹介 富士信仰の祭神・瓊瓊杵尊 石田 年子

◆房総の郷土史
 千葉県郷土史研究連絡協議会
 〒260-0855 千葉市中央区市場町11-1
 千葉県立中央図書館内 TEL043-222-0116
 年5000円 1974年創刊
 ◇43 2015.3 A5 137p
 巻頭言 合従連衡 秋葉 輝夫

鬼来迎と目連救母劇 外山日出男
 小報告 下総香取郡旧家子女の屋敷奉公一平田国学をめぐる 横山 鈴子
 銚子市の板碑 高森 良昌
 下総における挿花の普及について 村上 昭彦
 大坂の陣四百年と木更津船由緒 筑紫 敏夫
 第二十四代木村庄之助について一初志を貫いた緑川義を支えたもの 秋谷 忍
 壬申の乱と房総 松井 安俊
 上総七里法華の一考察 小川 力也
 政治的難局に立ち向かった初代千葉県令柴原和の実践内容、その確認・検証へー筆者提起「歴史的後遺症論」との関連において 川村 優
 零れ幸い 川合雄二郎
 活動報告 文化財としての『府馬の大クス』ー巨樹・古木フォーラムの報告より 繪鳩 昌之
 総会記念講演記事 三浦茂一氏「戊辰戦争における東海道先鋒総督府と房州地域」 事務局
 研究発表大会記念講演 勅撰和歌集と百人一首 秋葉 輝夫
 研究発表大会報告要旨 明治二十九年利根川水害による地域秩序の動揺ー水利慣行をめぐる訴訟事件を対象として 金子 祥之
 鎌倉幕府内乱における臼井氏と足利尊氏近臣・臼井興胤の実像 林田 聡嗣
 史跡探訪会 宮彫り師「波の伊八」の匠を求めて、いすみ市へ 福原 貞夫
 地方史情報 房総の窓ー「地方史研究」から(2014年2月～12月) 井上 隆男

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
 野村忠男方 TEL043-487-1033
 年2000円 2012年創刊
 ◇10 2015.5 A4 12p
 地名に学ぶ(9) 「おやしき」と「石神」 野村 忠男
 消えた川 中村 寛之
 萩野越中守の墓 松平喜美代
 下野国(しもつけのくに)散見 立崎 定幸
 広尾散歩ー高橋由一の絵と堀田坂 田中 征志
 北総散策(2) 印西 泉倉寺 光堂 結縁寺 伊藤 清
 私の地名研 黒岩 義人
 いすみ鉄道 グルメ列車 古山 哲子
 「歴史・地名の由来 よくわかる一冊」(讀賣新聞 2014年1月22日付 北総版掲載)

◆紙魚之友 房総史料調査会
 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室 1985年創刊
 ◇34 2015.4 B5 6p
 調査報告 旭市 長部 高木太一家文書 小田 真裕
 史料調査参加記 第七次睦沢町域諸家文書調査 竹中 友亮

◆千葉史学 千葉歴史学会
 〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円
 1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com
 ◇66 2015.5 A5 96p
 巻頭随想 記憶より記録ー住民生活記録の保存と活用のために 青木 睦
 歴史随想 災害の記録を残すということ 小田 真裕

房総半島に於ける君津製鐵所の
意義 夏目 大介
君津地方公立博物館協議会「災
害時の資料保全の相互応援に
関する覚書」について 布施 慶子
室町期下総千葉氏の動向
一兼胤・胤直・胤将 石橋 一展
宝永地震と大名手伝普請
一駿府城石垣修築を中心に 北原 糸子
書評 宮原武夫著『古代東国の調
庸と農民』 森田喜久男
新刊紹介
滝川恒昭編著『中世関東武士の
研究 第一三巻 房総里見氏』
遠山 成一
市川市史写真図録編集委員会編
『市川市史写真図録 この街
に生きる、暮らす』 高林 直樹
栗原克榮著『君津地域の昭和史
～戦前から戦後のはざまに～』
上田 浄
参加記
「篠塚の陣」とその周辺を訪ね
て一中世史部会史跡見学会参
加記 和氣 俊行
「資料の被災に備えて」に参加
して一平成二六年度君津地方
公立博物館協議会第一回研修
会・千葉歴史・自然資料救済
ネットワーク勉強会 手塚 雄太
見学記
映画「三里塚に生きる」を見て
中村 政弘
袖ヶ浦市郷土博物館企画展「袖
ヶ浦と鉄道」を見学して 高木晋一郎
例会報告
古代史部会 吉井 哲
中世史部会 石渡 洋平

近世史部会 西聡子／小田真裕
近現代史部会 矢嶋 毅之
民俗部会 和田 健
◆西上総文化会報
〒292-0833千葉県木更津市貝渕1-11-4
TEL0438-25-2003
◇75 2015.3 B5 118p
巻頭言
会報七十五号発刊にあたって 藤浪 弘美
南総至徳堂と長州の明倫館 三浦 茂一
後藤忠明と木更津について 布施 慶子
五榜の揭示 橘田 昭雄
飯野藩士の処分(罰)について 八田 英之
江戸湾富津台場を警衛した筑後柳
川藩士たち 村田 峯生
報国隊員 佐藤左衛門の足跡 野崎 竜太
飯野藩主取替事件 八田 英之
十種の善行 木村 智行
狸査知 おんこの木 木村 智行
馬はどこに行った 中嶋 美夫
旧南片町のお飯屋を飾っていた
「波と鯉」 川俣 公男
ミニ特集 戦後七十年に思う
戦争はいやだ 八田 英夫
戦後七十年の思い出＝三島事件
橘田 昭雄
戦後七十年の思い出 石渡 三郎
移動研修リポート
茨城県霞ヶ浦東部 行方地方を
訪ねて 移動研修Ⅰ 高木 秀子
西上州を訪ねて 移動研修Ⅱ 鬼形むつ子
鶴見総持寺と旧白洲邸を訪ねて
移動研修Ⅲ 川俣 公男
例会とその内容
第615回例会 定期総会と懇親会
第616回例会 移動研修Ⅰ
行方地方を訪ねて

第617回例会 研究発表Ⅰ
木更津の社寺彫刻～後藤忠明
を中心に
第618回例会 移動研修Ⅱ
西上州を訪ねて
第619回例会
第66回西上総文化展
第620回例会 祝賀と忘年の会
第621回例会 研究発表Ⅱ
君津地域の文学史(1)
第622回例会 移動研修Ⅲ
鶴見総持寺と白洲次郎邸を訪ねて
歴史ミニ情報
罪人を乗せた唐丸籠とは
久坂玄瑞と文
白洲次郎の心を打ちぬく名言
盲人用点字の先駆者
ビックリ・嬉しい・ありがたい
・とてもいい話
松下村塾とは
◆あしなか 山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇303 2015.6 B5 20p
表紙解説 福島県中通り地方の石
祠図(太田三郎画) 編集室
奥武蔵水源の峠道(1)
一入間川水系を行く・前編 飯野 頼治
「石祠」について
一文献に見る石造の祠 関 啓司
風祭り一風神・風切鎌・薙鎌 杉崎満寿雄
資料紹介 鎌鼬と天狗風
旅の草ぐさ(17)「まむしの話が
おもしろい…」一会員・藤崎崇
明さんを偲ぶ 荒井 俊昭
伊豆の温泉神と龍蛇・その1

一熱海・来宮神社 邑科 久乃
山里だより(22) ヨーカビの花折
り一丹波美山町 西浦 左門
会員著書 甲州道の歴史探訪一秩
父往還 飯野頼治著／会報誌
『そもそも』創刊号 責任編集
小倉美恵子
◆足立区立郷土博物館だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
TEL03-3620-9393 1996年創刊
www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/
chiikibunka/hakubutsukan/
◇68 2015.4 A4 4p
平成27年度の展示のお知らせ 特
別展 スイーツランド・あだち
一東京東部のお菓子づくり一／
収蔵資料展 版本の世界一娛
楽・教養と挿絵の美一／収蔵資
料展 地口絵紙コレクション展
一言葉遊びと笑いの精神一
博物館からのお知らせ 展示解説
ボランティア養成講座／伊興遺
跡公園で古代人のくらしを体験
しよう！／郷土芸能の催し 郷
土芸能鑑賞会、郷土芸能大会／
資料を検索してみよう／博物館
の映画会
文化遺産調査・特別展
文淵あらわる
足立区の文化遺産調査
◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇566 2015.4 A4 4p
手記「爆弾が落ちた日」と絵本

一千住緑町の爆弾空襲
 手記 爆弾が落ちた日(第1回)
 井上きみ子著
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(27) 鹿浜の子どもの生活
 (9) 小川誠一郎
 足立の水道覚書(上) 荻原ちとせ
 5月18日 国際博物館の日／博物
 館でボランティアをしません
 か？ 養成講座を開講します
 収蔵資料展 版本の世界－娯楽・
 教養と挿絵の美
 伊興遺跡公園展示館へようこそ
 おでかけください地元の古代(1)
 足立区地域文化課文化財係
 ◇567 2015.5 A4 4p
 まちの写真館2 千柳館 千柳館
 のあゆみと千住の思い出1 柳下 静子
 手記 爆弾が落ちた日(第2回)
 井上きみ子著
 足立の水道覚書(下) 荻原ちとせ
 ここで見て足立の博物館資料 常
 信筆百獣図－武蔵野美術大学美
 術館・図書館、阿弥陀三尊図像
 板碑－長野市立博物館／絵本で
 語る『ぼくたちのおばけえんと
 つ』
 ◇568 2015.6 A4 4p
 門井掬水と長門町の人々－季節を
 彩った日本画家の作品紹介
 郷土博物館 多田文夫
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(28) 鹿浜の子どもの生活
 (10) 小川誠一郎
 おでかけ下さい 地元の古代2
 いったいここは何処でしょう
 か？－伊興遺跡公園展示館ジオ
 ラマの風景 足立区役所文化財係

まちの写真館2 千柳館 千柳館
 のあゆみと千住の思い出2 柳下 静子
 ◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇325 2015.4 A4 8p
 合衆国首府「ワシントンの桜」(30)
 昭和35年・東京都公園協会 そ
 の後における米国の桜の研究
 足立区の文化財 平成2年版「足
 立区の文化財」による 有形民
 俗文化財 保木間氷川神社富士
 塚 1基、花畑浅間神社富士塚
 1基、綾瀬稲荷神社富士塚 1基、
 山包丸洲富士講関係資料一式
 足立史談カルタ て「手ならい寺
 子屋正法庵」、あ「アメリカに
 渡った五色桜」、さ「佐竹稲荷
 は屋敷跡」
 三田から泉岳寺へ／「大正記念道
 碑」拓本 鷗外記念館へ
 地域学習センターの活動から
 「足立の語り伝え」を歩く 鈴木 道夫
 樋口一葉ゆかりの伊勢屋の土蔵は
 鹿浜村から移築したものだった (矢)
 「合衆国首府 ワシントンの桜」
 巻末「日本桜植栽地附近要図」
 ◇326 2015.5 A4 8p
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 米国教育使節団の来日(1) 堀川 和夫
 米国教育使節団の来日(2)
 日本側教育委員と米国教育使
 節団のメンバー一覧
 宝寿院略記(寺島泰雄師の手書き
 のもの)
 四月探訪に関連して 宝寿院の文
 化財と満願寺震災犠死者群霊供

養塔
 足立区の文化財 平成2年版「足
 立区の文化財」による 有形民
 俗文化財 小台の七庚申、阿弥
 陀三尊来迎像庚申塔、山王二十
 一仏庚申塔、阿弥陀坐像庚申塔、
 聖観音立像庚申塔、ア種子庚申
 塔／今・庚申塔は／有形民俗文
 化財 青面金剛庚申塔、青面金
 剛庚申塔、弁天像供養庚申塔／
 博物館の展示「版本の世界」
 ◇327 2015.6 A4 8p
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 (3) 独自の戦後教育改革意見
 日本側教育家委員会教育改革作
 成案 堀川 和夫
 足立区の文化財 平成2年版「足
 立区の文化財」による 有形民
 俗文化財 地藏菩薩(主尊)庚申
 塔、板碑型庚申塔、青面金剛庚
 申塔、石祠型庚申塔、板碑型阿
 弥陀三尊種子庚申塔、百體庚申
 塔／足立区郷土史料刊行会
 五月探訪 神楽坂から早稲田へ
 簞作りの職人たち 神田明神に名
 を記した簞作りの人々 相川謹之助
 完成「江北の五色桜」 船津資料
 から見た日米桜友好一〇〇周年
 矢沢幸一朗
 ◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
 〒183-0026東京都府中市南町6-32
 TEL042-368-7921 1987年創刊
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
 ◇112 2015.6 A4 8p
 明治時代に使われた春蚕の種紙。
 番号のあるところに卵が産みつ
 けられています。

カイコがつくった風景(1)
 種をまき育てる 佐藤 智敬
 最近の発掘調査 沖積低地で古墳
 時代前期の遺跡を発見 日吉町
 一丁目 湯瀬 禎彦
 NOTE
 太陽系形成の謎を解く隕石 本間 隆幸
 展示会案内 企画展 隕石展
 宇宙からの贈り物 本間 隆幸
 展示会案内 特別展 あしもとネ
 イチャーワールド 夏の生きも
 の甲子園 中村 武史
 多摩川おさかな考(5)
 みんなまとめてハヤ 中村 武史
 平成26年度 寄贈・寄託資料一覧
 ／平成26年度 利用状況
 連載『県居井蛙録』にみる江戸
 時代の庶民の生活(7) 跡取り
 息子の結婚 花木 知子
 ◆板橋史談 板橋史談会
 〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
 www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/
 ◇284 2015.5 B5 36p
 鹿王院と赤塚荘園 余考(前) 大井 眸
 植村冒険館 石塚 輝雄
 いたばし、町の変化・街並み今昔
 一小竹向原駅周辺 三原寿太郎
 板橋史談会五〇周年記念式典・祝
 賀会記録写真 事務局
 第13回「櫻井徳太郎賞」授賞式
 板橋史談会が「郷土文化賞」受
 賞 木田 誼
 ひろば いたばし武者行列保存会
 の発足について 中村 正宏
 表紙写真解説
 「徳丸四ツ竹踊り」(北野神社) 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒350-1301埼玉県狭山市青柳63
新佐山ハイツ4-504 藤本一美方

◇403 2015.5 B5 25p

再び継続は力なり 藤本 一美
会員名簿にみる会員数の変遷一か
つての名簿は欠番があり、番号
だけでは誤認されやすい 藤本 一美
峠の残照

一奥武蔵高原とその周辺(1) 小泉 重光
奥武蔵・秩父の獅子舞(57)

一新堀(高麗神社)の舞 関口 洋介
安全対策班だより 吉田美知子
山行報告

早春の破風山 飯沼 巳好
南房総の山に幻の花を探る 藤本 一美
秩父古道・鎌倉道を歩く 成川 茂雄
お伊勢山遊歩道から狭山湖 関口 洋介
表丹沢・鍋割山 吉田 修
金時山から明神ヶ岳・明星ヶ岳

将門伝説の城峯山 加藤 恒彦
飯沼 巳好
羅漢山から円良田湖へ 斉藤 慶広
逗子の山 二子山から乳頭山 吉田 修
山 もう一つの札所巡り(2)

しだれ桜を求めて 西東 昭夫
アカヤシオ咲く小持山 成川 茂雄

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇116 2015.5 B5 10p

第388回 月例研究会 青梅きもの
博物館～皇室の衣装展～ 山田美登里
きものの模様について 鈴木 啓三
第387回 月例研究会 補助86号線
拡幅問題に対する地域住民の取
り組み 川上 明

第386回 月例研究会 豊島庄犬喰
名を賭けた豊島氏―エピソード
に見る豊島氏と博打の歴史 伊藤 一美

◆産業考古学研究

東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX048-479-7490
2014年創刊 http://tias3.web.fc2.com

◇2 2015.5 A4 60p

表紙 隅田川に架かる「清洲橋」
関東大震災後の帝都復興事業と
して架設(国重要文化財)
我が国セルロイド工業の軌跡
岩井薫生／大井瑛／松尾和彦

旧紀長伸銅所煉瓦造工場に用いら
れた「フィンクトラス」 堀内 仁之
生糸商標誕生前後 長野 恭彦
三田用水と目黒火薬製造所 東海林次男
北区滝野川反射炉関連稲荷社の関
係保存物の写真と同反射炉の耐

火煉瓦 馬場 永子
第二次大戦末期に陸軍造兵廠が造
った鉄薬莢 山下 甫

資料紹介 日暮見一・千葉いずみ
「徳川吉宗再興の江戸幕府直轄
牧 嶺岡牧」及び日暮見一・牛
村展子他「日本近代酪農・乳食
文化の源流 嶺岡牧」 小笠原永隆
フォーラム 日本の研究博物館・
資料館と産業考古学 多田 統一

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063東京都町田市野津田町897
TEL042-734-4508 1987年創刊

◇28 2015.3 A5 156p

《特集 私にとっての自由民権研究(2)》
歴史のなかの自由民権運動 松沢 裕作

戦後10年目に生まれて 福井 淳
高知市立自由民権記念館で考える

こと 筒井 秀一
自由民権運動研究の課題と方法 千葉 昌弘
民主主義と自由民権研究の可能性
金井 隆典

書評 塩原佳典『名望家と〈開化〉
の時代』 福澤 徹三
2013年度 第2回企画展「小野路村
展」の記録
講演抄録

小野路村寄組組合と関東取締
出役 桜井 昭男
小野路の民俗 畠山 豊
小野路村名主・小島鹿之助の
人物像について 小島 政孝

2014年度 第2回企画展「絵図でみ
る町田―Part3―」の記録
講演抄録 神奈川県地租改正
事業と地引絵図 奥田 晴樹

民権ネットワーク
青森県 河西 英通
山形県 三原 容子
福島県 鈴木 吉重
埼玉県 鈴木 義治
千葉県 矢嶋 毅之
東京都 福井 淳
多摩地区 松崎 稔
新潟県 横山 真一
静岡県 加藤 善夫
高知県 筒井 秀一
熊本県 水野 公寿
鹿児島県 久米 雅章
共同研究「東北の自由民権運動」

友田 昌宏
樋口 雄彦
田中正造 赤上 剛
文学 松原 真

激化事件 田崎 公司
自由民権運動関係文献情報(28)

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇89 2015.4 A4 6p

姫路城大天守修理完了
一3月27日より一般公開
平成27年度 総会・大会のお知らせ
大会テーマ「古河公方をめ
ぐる戦と城郭」

浦賀奉行所大手口の石橋遺構一近
世城郭・陣屋の石橋遺構から 西ヶ谷恭弘
金沢城玉泉院丸庭が復元
訃報 朽木史郎氏ご逝去
最近の注目される城郭関係図書か
ら／各地の城郭研究会活動から
／日本城郭史学会活動から

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇251 2015.5 A4 10p 400円
玉川上水通船異聞 木村 輝郎
天盃頂戴一明治初年の天皇と民衆

真板 道夫
大宮八幡宮旧本殿 解体さる 新村 康敏
リニューアルなった杉並区郷土博
物館 伊東 勝
陽明文庫を訪問 新村 康敏
島海靖先生

“近衛文磨”講演会開催 編集部
私の本棚から(49)「江戸の備忘
録」磯田道史著 朝日新聞出版
芦原 義守

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会
〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方
TEL03-3844-2008 1987年創刊
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇57 2015.4 A4 20p
はじめに 隅田川に流れている水 馬場 永子
第28回隅田川市民サミット(船上)
「隅田川の河川環境の展望」―屋
形船からの隅田川観察と会員交
流を主軸に 篠田裕／鈴木俊一
隅田川市民交流実行委員会 平成
26年夏期講演会「隅田川水系に
生息する魚」―生物と河川の現
状を見て今後を考える 小泉 正行
佐藤武レポート 南千住八丁目地
先に溜まったヘドロ 干潮時で
ないと見れない 佐藤 武
隅田川大学公開講座 「新しい形
の水上交通システム提案」―20
40年から俯瞰した2020のあるべ
き姿 講師：阿部彰氏 猪狩 達夫
隅田川大学実践俳句講座
I 「池波正太郎ゆかりの地を歩
く(その2)」 岡部 恒雄
II 「吾妻橋から兩國橋まで右岸
を歩く」 岡部 恒雄
交流コーナー
紫川を愛する会「武良前 むら
さき通信」第118号、2014年
12月号 衛藤 修一
第11回四万十川展 小堀 郁恵
隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)「田辺貞之助著『女
木川界限』に寄せて」―亀高新
田を小名木川沿いに訪ねる 講
師：小木曾淑子／「小名木川沿
いの新・旧を訪ねる」 講師：

小木曾淑子
会員便り 隅田川沿いに橋場『川
口楼』のお直を探して 小木曾淑子
◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇231 2015.6 B5 33p
修験道書の和歌・呪歌 久野 俊彦
天神信仰の発生と展開
―熊本市の事例を中心に 福西 大輔
多聞院の寅まつり 大島 建彦
野兎をめぐる民俗補遺(下)
―ユキサラシを中心に 天野 武
山梨の天狗像 高橋 成
◆全日本郷土芸能協会会報
〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9435
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇79 2015.4 A4 24p
浅草神社のびんざさら(三社祭)
東京都台東区浅草 浅草神社
東京都指定無形民俗文化財
平成27年度総会／全国民俗芸能保
存振興市町村連盟(略称全民連)
第39回定期総会
「伝統芸能アウトリーチ事業」研
修会(報告)
『鬼よ燃えろ! 冬のみちのく芸能
まつり Part6』 菅原 晃
第8回獅子博物館表彰式 高橋 裕一
東日本大震災・郷土芸能復興支援
プロジェクト／新刊紹介 『震
災と芸能―地域再生の原動力』
東北地方の一人遣い人形芝居 庄
内出羽人形芝居を受け継ぐ―多

くの人に支えられて(3) 津盛柳貳郎
地芝居 かながわ伝統芸能祭 地
芝居2015 14回目を迎えた「か
ながわ伝統芸能祭 地芝居
2015」／首都東京の地芝居 第
25回全国地芝居サミット in あ
きる野 開幕迫る／次回、第26
回全国地芝居サミット 愛知県
豊田市で開催決定
地芝居探訪(53) 内船歌舞伎／伝
統歌舞伎の祭典／第9回信州農
村歌舞伎祭／東濃歌舞伎中津川
保存会吉例歌舞伎大会／日本武
神社大祭・歌舞伎
地芝居見聞(17) 第6回信州農村
歌舞伎祭／第63回吉例歌舞伎大
会 北河 直子
地芝居あれこれ(18)
祇園座の女将さん 蒲池 卓巳
会員紹介 横仙歌舞伎保存会
「横仙歌舞伎を知ってほしい」 花房 昭夫
神戸から常盤座へ―怖いもの知ら
ずの遠征記 神戸農村歌舞伎保存会
(兵庫県 加藤直子代表)
祝 神戸農村歌舞伎保存会 第5
回地域再生大賞近畿ブロック賞
民俗楽器(55) 南インドの太鼓文
化の差―ケーララ州とカルナー
タカ州 山本 宏子
空白の沖縄芸能史(8)
嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
情報 2015年度 文化経済学会東
京大会
マレの会 『マツリクロッシング』 神野 知恵
第7回安房の伝統芸能まつり・人
形浄瑠璃
日本の郷土芸能に魅せられた写真

家 西村裕介 郷土芸能を後世
に残し、世界でも知ってもらい
たい 西村 裕介
◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
◇277 2015.4 A4 2p 100円
深川江戸資料館主催「江戸の物売
りと大道芸」大盛況で終わる／
アンケート結果
蛸坊主／竹からくり／ちょんがれ
坊主／木戸芸者／おはなし売り
／乞食のおいらん／砂定／たぬ
き飴
◇278 2015.5 A4 2p 100円
江戸の珍商売(生業)(4) 孝行糖
／掃込婆／安珍／三井寺へ行ふ
／和尚今日／半田稲荷
◇279 2015.6 A4 2p 100円
明治の大道芸と物売り 独角力／
按摩／付木売り／金魚屋と風鈴
屋／竹筒売り
◆多摩地域史研究会会報
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊
tamaten.web.fc2.com
◇115 2015.5 B5 16p
第87回例会報告 第87回例会
「宝暦告訴事件」と北大久野村 岩田 基嗣
例会参加への誘い 地域史は、現
場に出てこそ―『小平市の鈴木
遺跡と旧新田村を歩く』の例会
報告と編集後記を地図で読む 馬場 善信

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp

◇158 2015.5 A5 98p
《特集 宝永の富士山大噴火》
富士山宝永噴火と南関東の被害
一長期間に及んだ土砂災害 井上 公夫
元禄・宝永期の大災害
一幕府の対応策を検証する 北原 糸子
府中宿に降った宝永火山灰のその
後—府中市域の発掘調査事例か
ら 湯瀬 慎彦
宝永富士山大噴火と多摩丘陵の村
々 桜井 昭男
洋風建築への誘い(47) 白梅かほ
る百草画荘・小島善太郎記念館
伊藤 龍也
建物雑想記(42)「百草画荘」
茶室から観る画伯の宇宙 酒井 哲
多摩のみほとけ(21) 檜原村 五
社神社(2) 木造蔵王権現立像 齊藤 経生
本の紹介
練馬区立石神井公園ふるさと文
化館編『特別展 富士山—江
戸・東京と練馬の富士—』 桑原 功一
八王子市市郷土資料館編『宇津
木向原発掘50周年～方形周溝
墓の命名と八王子の弥生時代
遺跡～』 伊藤 敏行
多摩丘陵の自然を守る会編『守
っていききたい多摩丘陵の自然
—30年の活動—』 内野 秀重
情報 多摩の博物館だより

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一／〒352-0011埼玉県新座市野火

止4-8-43 柚須紘一 方 FAX048-479-7490
tias3.web.fc2.com

◇112 2015.5 A4 8p
報告 見学会「蚕糸科学研究所」 平井 東幸
報告 講演会「写真フィルムの発
達と終焉」 文・平井東幸／写真・堀内仁之
報告 桂俊太郎監督映画「狛犬の
棲む里」完成上映会
玉井幹司／写真提供・物流博物館
陶器製手榴弾の「発掘記」
文・奥原一三／写真・吉田修
新刊紹介 『中部における産業遺
産研究のあゆみ—創立20周年記
念誌』 中部産業遺産研究会／
『日本の研究博物館・資料館』
多田統一編著 平井 東幸
新刊紹介 『輝く技術 光る企業』
東京都産業労働局商工部経営支
援課編／『新肥後学講座 明治
の熊本』 熊本ルネッサンス県
民運動本部編 多田 統一
博物館シリーズ(22) 大正時代か
らの造船所で使用されたエア
ー・コンプレッサー 小野田良智
2014年度 第10回理事会の議事概
要／2015年度 第1回理事会の
議事概要
茨城県常総市の赤煉瓦建築物(1)
長田屋陶器店 八木 司郎

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男 方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇111 2015.4 B5 4p
第111回例会 京都が上というこ
と一道の上下と土地の上下につ
いて 下島 邦夫

布川豊島氏の地名 財満かほる

◆練馬古文書研究会会報
〒176-0022東京都練馬区向山3-21-15
保戸塚方 TEL03-3999-8871 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/
◇54 2015.6 B5 4p
2015年1月講演
山仕事そして古文書(抄録) 羽鳥 孝明
古文書 境界には杉を残す(青梅
市郷土博物館蔵 福島家文書か
ら)
古文書の細道
私の古文書事始 本江 俊美
置き去り古文書 坂本 晶
事務局通信 保戸塚太地

◆ねりまの文化財
練馬区地域文化部文化・生涯学習課
伝統文化係
〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1
TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇94 2015.4 A4 6p
平成26年度新規の指定・登録文化
財 金銅製飾具(指定有形文化
財)／加藤家文書(登録有形文
化)
練馬区指定文化財一覧／練馬区登
録文化財一覧
三年の一度の鶴の舞／「石神井火
車站之碑」移設しました

◆八王子市史研究
八王子市総合政策部市史編さん室
〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3
TEL042-666-1511 2011年創刊
www.city.hachioji.tokyo.jp/seisaku/13570/
◇5 2015.3 A5 206p

『釈日本紀』と蘇民将来 関 和彦
北条氏の対外策と北条氏照の役割
池上 裕子
近世前期における検地施行と土豪
の変容—武蔵国多摩郡上恩方村
草木家を事例に 鈴木 直樹
橋本義夫の記録からみた八王子の
文化運動—教育の家・教科書南
多摩支部・地方文化研究会の活
動を中心に 増沢 航
ニジマス増養殖の歴史と展望 加藤 憲司
年中行事を取り入れたチラシの機
能—スーパーマーケットへの取
材を通して 入江 英弥
調査報告 八王子市の民家と職人
津山 正幹
追悼文 村上直先生と八王子・多
摩地域の歴史研究 馬場 憲一
横山宿の角屋彦兵衛について 原 祥
八王子の農地改革 井上 健
資料紹介 応召日記 小川洸太郎
武州呼ばわり村 浦野 裕
新刊紹介
『新八王子市史』資料編2 中世
柳沢 誠
『新八王子市史』資料編6 近現
代2 宮崎 翔一
新八王子市史民俗調査報告書第
3集 八王子市西南部地域
浅川の民俗 宮本八恵子
八王子市史研究総目次(創刊号～
第4号)

◆民俗建築 日本民俗建築学会
〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33
法政大学デザイン工学部建築学科内
TEL03-5228-1496 www.folkhouse.org
◇147 2015.5 B5 118p

扉絵 旧御子神家住宅スケッチ
千葉県印旛郡栄町 県立房総の
むら 2014年 道塚 元嘉
巻頭言 1945年～46年の私の蔵書
杉本 尚次
大会発表研究論文
渥美半島伊良湖村の人々に陸軍
省が支払った民家の移転料 林 哲志
フランスの気候マップとヴァナ
キュラー 出口 清孝
紀伊半島大水害における住宅被
災状況と避難状況、災害伝承
について 千森 督子
韓国伝統住宅の構造に関する研
究―上流・中流・庶民住宅の
比較 朴 賛弼
夏の民家における蓄熱特性―民
家実測による考察 金田正夫／出口清孝
太宰府天満宮の楼門―新出の絵図
佐藤 正彦
文化元年香椎宮の奉幣使参向の環
境整備―費用と担当者 佐藤 正彦
茨城県新利根町の民家における柱
間寸法の変遷 菊地 憲夫
シンポジウム報告 町並み保存か
らまちの再生へ―重伝建の町・
豊岡市出石のまちづくりにむけ
て 森 隆男
2014年度秋の見学会報告 出石旧
城下町と京丹後地方の集落と町
並み 大場修／森隆男／鈴
木あるの／西尾嘉美
民俗建築アーカイブ(7)
1933年の鹿苑寺金閣の写真
民俗建築アーカイブ担当
研究会報告
懸魚―懸魚の形態と意匠の移り
変わり 佐々木孝雄

工学院大学図書館特別コレクシ
ョン「今和次郎コレクション」
から民家アーカイブズへ 荻原 正三
VIEW 民家(45) 利長家の踊り
庭から考える営みのなかのデザ
イン 堤 涼子
新刊紹介
『知って役立つ民俗学―現代社
会への40の扉―』福田アジオ
責任研修 佐藤 照美
『東北の震災復興と今和次郎
ものづくり・くらしづくりの
知恵』黒石いずみ著 堤 涼子
文献紹介 単行本・報告書・論文
事務局

◆無形文化遺産研究報告

東京文化財研究所
〒110-8713東京都台東区上野公園13-43
東京文化財研究所無形文化遺産部
TEL03-3823-2241 2007年創刊
◇9 2015.3 A4 208p
染織技法書に見られる豆汁の役割
―寛文6年刊『紺屋茶染口伝書』
を中心として 菊池 理子
無形文化遺産の保護に関する第9
回政府間委員会における議論の
概要と今後の課題 二神 葉子
資料紹介
昭和49年撮影『竹富島の種子取
り』―無形文化遺産部収蔵フ
ィルムとそのデジタル化(2) 佐野 真規
梅村豊撮影歌舞伎写真(6) 鎌田 紗弓
東京文化財研究所所蔵 フラン
ス・パテ社製S Pレコード
長唄『吉原雀』を中心に 星野 厚子
フィルモン音帯一覧
(2015年3月現在) 飯島 満

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内
1962年創刊
◇89 2015.5 B5 100p 1500円
《特集 近世につくられた「中世」
―「語り」の視点から》
特集にあたって 民衆史研究会委員会
近世刊行軍書がもたらした歴史観
―「武将」「大名」をめぐる「語
り」 井上 泰至
本多平八郎の兜 黒田 智
徳川史観と織豊期政治史 堀 新
討論要旨
書 評
金山泰志著『明治期日本におけ
る民衆の中国観―教科書・雑
誌・地方新聞・講談・演劇に
注目して―』 青木 然
高島千代・田崎公司編著『自由
民権〈激化〉の時代―運動・
地域・語り―』 西腰周一郎
明治大学史資料センター編『木
村礎研究―戦後歴史学への挑
戦―』 深谷 克己
高橋美貴著『近世・近代の水産
資源と生業―保全と繁殖の時
代―』 池田 哲夫

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141
年6000円 1985年創刊
◇58 2015.3 A5 113+30p
《民俗芸能学会 創立30周年記念》
平成二六年度シンポジウム「神楽
の本質と変容」
基調講演「神楽とは何か」 山路 興造

パネリスト報告

神楽の本質と変容 神田より子
「民俗」芸能としての神楽の定義
と分類に関する問題提起 久保田裕道
太々神楽の変容
―採物舞から面神楽へ 高山 茂
「花祭り」を事例として 中村 茂子
討 論 司会・茂木 栄
「振」から舞へ―採り物舞の意味 小島 美子
武蔵御獄神社太々神楽―楽曲と芸
態から江戸神楽の変遷を考える 森林 憲史
女性神楽師の誕生と伝承基盤
―埼玉県諸神楽の近現代 田村 明子
民俗芸能研究文献目録
平成24年 西嶋一泰・編

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5
加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
年4000円 1918年創刊
◇354 (90-1) 2015.4 A5 100p
《特集 武蔵野の近代化》
「特集 武蔵野の近代化」に寄せて
坂詰 秀一
江戸から東京へ
(平成26年度総会記念講演会) 大石 学
ペリー来航と川越藩の対応―幕府
・諸藩を畏怖させた十日間 宮原 一郎
明治初期における渋沢栄一と産業
振興―抄紙会社・第一国立銀行
と深川福住町邸の関わりからみ
る 桑原 功一
武蔵野のシルクロードと原善三郎、
三溪富太郎 川幡 留司
武蔵野の環境
―大名庭園から公園へ 樋渡 達也
東京における上水道の近代化 吉田 雅之

築地居留地と学校 中家 健
武蔵野の自由民権運動
一「五市憲法」の背景 松崎 稔
武蔵野鉄道の経営と沿線観光 老川 慶喜
余滴 山岡超舟と武蔵野会 三橋 広延
平成二十六年度総会報告 事務局

新刊紹介 江戸東京たてもの園編
『下布田遺跡—武蔵野の歴史と
考古学—』、重田正夫・白井哲
哉編『『新編武蔵風土記稿』を
読む』、井上恵一著『後北条氏
の武蔵支配地域領主』、渡邊晴
美著『鎌倉幕府北条氏一門の研
究』、北条氏研究会編『武蔵武
士を歩く』

◆洋学史研究 洋学史研究会
〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482
年5000円 1984年創刊
◇32 2015.4 A5 172p
堀内素堂『幼幼精義』原書重訳箇
所の追究 片桐 一男
「蘭化先生傳」解題並びに訳注 倉島 幸雄
勝俣銓吉郎の寄稿文「最初の英和
対訳字書」から百年目 三好 彰
長崎諸役所絵図帖について 大井 昇
書評 佐藤隆一著『幕末期の老中
と情報』 松本 英治
特集 洋学史研究会創立30周年
座談会 洋学史研究会の過去と
未来を語る

司会：岩下哲典氏／出席：片桐一男
氏・佐藤隆一氏・石田千尋氏／指名
発言：今村英明氏・河元由美子氏・
向井達夫氏・春名徹氏・松本英治氏・
濱口裕介氏・長田和之氏

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇241 2015.4 A4 28p
小田原桐座について(1)
一由緒書の検討を中心に 荒河 純
史談再録(18) 135号 明治以後
小田原劇場物語(一)一桐座 石井富之助
小田原の郷土史再発見 飯山家文
書に見る小田原の農民一家五代
の物語 石井 啓文
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
久所のむかし話 宮原 詢二
片岡日記 昭和編(2) 片岡永左衛門
宮之前的山田呉服店(下)

話し手：山田影夫さん 青木 良一
小田原大秘録(巻一から巻三まで
の読み下し文) 第九回巻三の二
鳥居泰一郎
初詣「池上本門寺」と「六義園・
日本民芸館」 田中 豊
聞き耳 倒判(さかさはん) 石井 啓文
小田原の街角写真今昔(4)(岡部
忠夫先生のアルバムより) 植田 士郎

◆開国史研究 横須賀開国史研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政策推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊
◇15 2015.3 A5 145p 800円
口絵資料紹介・解説 「大日本名
所図会 横須賀湊風景」(歌川
国利画) 久保木 実
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
総会記念講演 幕臣小栗上野介忠
順の幕政改革構想と横須賀製鉄
所 高橋 敏

開国史講演会
第一部 講演 富岡製糸場の設
立に関わる横須賀製鉄所との
関連性について 岡野 雅枝
第二部 対談 岡野雅枝／山本詔一
開国史研究講座講義録 横須賀製
鉄所の人々—日本近代化の原点
西堀 昭
レポート
幕末の横須賀製鉄所 山本 詔一
『井関隆子日記』に見る浦賀奉
行以前の戸田氏栄 大河内将俊
史料を読む
ブラザーズ号浦賀来航の記録 齋藤 純
研究会一年の活動 事務局

◆かまくら女性史の会 Newsletter
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26
◇21 2015.4 A4 2p
「人と人をつなぐ」きららカフェ 渡辺 公子
文書館がほし〜い シリーズ6
コミュニティ・アーカイブズと
いう思想
旧図書館保存活動の現況報告

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会
〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創刊
www.rekikaken.org/relika/
◇27 2015.2 B5 68p
《特集 佐久間権蔵日記
—大正6年1月〜6月翻刻—》
巻頭言・特集にあたって 大湖 賢一
佐久間権蔵日記 大正六年

◆コロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円 1979年創刊
◇141 2015.5 B5 6p
博物館展示と地域社会 張 艶
文化的景観を歩く—葛飾柴又帝釈
天参道を寅さんと歩く(6) 西海 賢二

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会
〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169
年2000円
◇69 2015.5 B5 4p
研究例会 第96回例会 創立20周
年記念事業・シンポジウム 首
都と首都圏
情報ネットワーク 展覧会情報

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方方 1980年復刊
shounankouko.jimbo.com
◇139 2015.4 B5 28p
中世紀行文に見る「相模の国」 永山 鶴一
心の考古学まで(10) 前方後円墳
の起源を求めて(2) 古要 祐慶
さば神社を考える(26)
鉄をつくる(7) 西村堅一郎
「相模国分寺と乗越瓦窯」の講演
を聞いて 古要 祐慶
企画展「大地に刻まれた藤沢の歴
史Ⅳ—古墳時代—」を見学して
永野 博美
湘南考古学同好会のウェブサイト
を開設しました！ 高野 麗
「第32回 藤沢市遺跡調査発表会」
の「特別報告」を聞いて 菅野 博仁
最新報告書の紹介 『神奈川県小

田原市 小田原城下上幸田跡
(No.35遺跡)第Ⅴ地点 発掘調査
報告書』
平成26年度かながわの遺跡展『発
掘された御仏と仏具―神奈川の
古代・中世の仏教信仰―』見学
記 池田 大輔
平成26年度 湘南考古学同好会
活動の記録
会報140号(35周年記念号)原稿募
集のお知らせ 染谷 七重
最新報告書の紹介 『神奈川県藤
沢市 西富貝塚(No.46遺跡)発掘
調査報告書―第4次調査―』、『神
奈川県藤沢市 宮原百石原(No.
236遺跡)遺跡発掘調査報告書』
第10回 若手研究者を囲む勉強会
石器製作における諸問題につい
て 加藤大二郎

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇74 2015.3 A5 24p
聞き取り
新玉小空襲と小田原空襲を目撃
して 話し手：下田勝也
風祭の宝泉寺と箱根病院の元傷
痍軍人 話し手：原宗寛
コラム 映画「八甲田山」と傷兵
院・傷痍軍人箱根療養所
最近の『戦争と民衆』目次
(第72号・第73号)
交流報告
第15回米軍資料の調査・活用に
関する研究会と全国連絡会議
第44回神戸大会参加記 矢野 慎一

戦災・空襲記録づくり第30回東
海交流会 矢野 暁
平和学習報告
沖縄修学旅行平和学習 河上祐海仁
講演会報告 「知られざる小田原
地方の戦争」 井上 弘
書籍出版のご案内 『語り伝えよ
う小田原の戦争体験』

◆地名と風土 日本地名研究所
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
1989年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇8 (復1) 2015.3 B5 136p 1600円
口絵 写真でよむ地名
四万十川／善光寺
巻頭言
『地名と風土』復刊に寄せて 谷川 彰英
難読地名のミクロコスモス 谷川 彰英
平泉地名と牛首地名
一白山信仰の古層を探る 前田 速夫
瑞祥地名の特色と変遷 黒田 祐一
若狭という風土と地名の課題 金田 久璋
谷川健一の「青」に教えられ「大
和の青垣、山籠れる」を解釈す
る 吉田 金彦
特集Ⅰ 「平成の大合併」を検証する
「平成の大合併」とは何だった
のか 小林 汎
〈歴史〉を閉じた村―上九一色
村の「分村合併」とその後 高橋 治
越境合併による現況と課題
一長野県木曽郡 原 董
熊本県宇城市を中心にして
佐藤伸二／村井眞輝
「市町村合併をしない矢祭町宣
言」を出した矢祭町 菊地 恒雄
活力あふれる柳田国男生誕の地

一福岡町から 嶋田 正義
特集Ⅱ 美濃の地名と風土
郡上の地名と風土 井藤一樹／馬淵旻修
美濃の地名研究と方言資料 鏡味 明克
岐阜の地名と風土 中根 洋治
輪中の地名と風土 伊藤 憲司
地名の先達(1) 吉田東伍 伊藤 純郎
アイヌ語と地名(1)
アイヌ語の始まり 児島 恭子
地名学習のすすめ(1)
地名教育から地名学習へ 小田 富英
地名へのひとこと
反町界限 相澤 一男
さがみ探訪からの発見・庶子分
鈴木 富雄
悩ましい悩み 太宰 幸子
地名に魅せられて 田中 弘倫
近況・歳の終わりに 久野 啓介
谷川地名学の継承と今後の課題
金田 久璋
地名のメッセージ性を理解して
もらうために 桑原 康宏
阿多香 佐藤 伸二
綱 島 城田 九一
『活動報告』 説田 武紀
なぜ北海道だけ、道がつくんだ
!! 園部 正敏
「南薩地名研究会」のこと 田頭 壽雄
音変化による地名の多様性 永瀬 尚武
伊賀の妖怪地名(猫股) 中平 勝
地名に学ぶ地域教育 原 董
村名変更に関して「明方村から
明宝村へ」 原 義典
豊田出版名鑑を編集して 深津 重貞
地名談話室 地名に寄せる心豊か
な眼差し 伊那谷地名研究会 原 董
立 花 川崎地名研究会 菊地 恒雄
西美濃 彼は

岐阜県地名文化研究会 説田 武紀
会員の意欲高く 熊本地名研究会
二七年の積み重ね
群馬地名研究会 澤口 宏
「アイヌ語地名と韓地名」
埼玉地名研究会 吉開 知治
東北アイヌ語地名研究会の活動
について
東北アイヌ語地名研究会 太宰 幸子
「関」という地名
新潟県地名研究会 長谷川 勲
座光寺の姓と地名
藤沢地名の会 鈴木 富雄
地名の収集保存について
船橋地名研究会 滝口 昭二
宮城県地名研究会の活動
宮城県地名研究会 太宰 幸子
第34回 全国地名研究者大会 岐
阜大会 テーマ「美濃の交通・
地名・風土」
コラム
「日本で最も美しい村」連合 菊地 恒雄
全国唯一の地名「垢」を守る 昼間 良次
都丸九九一と地名 川島 健二
富士見地名について 田代 博

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇81 2015.4 B5 6p
大垣大会へ行こう！ 谷川 彰英
創立十周年記念を迎えて
海の熊野地名研究会 田中弘倫
生涯学習センターの図書室へ「地
名学習コーナー」設置
あさぎり町地名研究会会長 和田行立
／事務局 白柿洋征

会員の結集で岐阜大会を成功させよう 第34回全国地名研究者大会
 全国地名研究者大会(岐阜)に向けて 岐阜県地名文化研究会会長 説田武紀
 書評欄 『身近な地名で知る日本』 全六巻 黒田祐一著、徹底した現地取材の結実『災害と地名～減災への道しるべ～』、『地名から知る先人の暮らしと歴史』～東北地方に残るアイヌ語地名 東北アイヌ語地名研究会、『47都道府県・地名由来百科』 谷川彰英著、人間と大地をむすぶ情報誌『地名と風土』が戻ってきました！

◆年報 首都圏史研究
 首都圏形成史研究会
 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169 年2000円
 ◇4 2014 2015.5 A4 105p
 野菜種子供給体制の再編期における「採種管理人」の成立と展開 阿部 希望
 明治地方自治制と学校行政一近世・近代移行期地域社会論についての一試論 神山 知徳
 特集 歴史災害を伝える
 一“災害史”展示の現状と課題 基調講演 関東大震災90周年事業を振り返って～震災遺産の掘り起こしと社会への還元 北原 糸子
 報告要旨
 春季企画展「大磯の災害」を開催して 大石三紗子
 公文書館における災害展示 一宮内公文書館を事例に 宮間 純一

関東大震災90周年連携展示の試みー横浜市の事例から 青木 祐介
 災害史の別の側面ー“自然”の記述と“防災”の伝承 諸井 孝文
 関東大震災をどう語り継ぐのかー自治体史における災害史編纂の課題 小風 秀雄
 討論の記録 “災害史”展示の現状と課題ー関東大震災100周年にむけて 吉田 律人
 参加記
 シンポジウムに寄せてーコメンテーターの視点から 橋本 直子
 シンポジウム「歴史災害を伝えるー“災害史”展示の現状と課題ー」に参加して 木村 慎平
 第91回研究例会・シンポジウム 丹治 雄一
 書評 近代租税史研究会編『近代租税史論集2 近代日本の租税と行財政』 神山 恒雄
 首都圏形成史研究会活動報告
 第87回例会 報告要旨
 東村山の軍関係施設と軍隊の駐屯 高野 宏峰
 〈空都〉多摩解明の限界 一陸軍省の新聞報道規制 鈴木 芳行
 第88回例会
 報告要旨 近代水道敷設の政治史ー水道の地方利益化の問題を中心に 松本 洋幸
 参加記「首都圏形成史研究会第88回研究例会」参加記 西村 健
 第89回例会 報告要旨 茨城県立歴史館の公文書保存について 富田 任
 第90回例会 報告要旨
 敗戦と松戸・藤ヶ谷飛行場 栗田 尚弥

第91回例会 シンポジウム「歴史災害を伝えるー“災害史”展示の現状と課題ー」



＊特集「歴史災害を伝えるー“災害史”展示の現状と課題ー」に当たっての、横浜都市発展記念館西村健氏の言葉の冒頭部分を、やや長くなるが引用する。

「2013(平成25)年9月1日、約105,000人の犠牲者を出した関東大震災から90年の月日が経過した。それと前後して、関東地方の博物館や文書館、図書館では、災害史に関する企画展示が同時多発的に行われ、歴史災害を振り返る機会を人々に提供していった。この背景には、約18,500人の犠牲者を出した2011年3月11日の東日本大震災の影響があることは言うまでもない。／従来、各地の博物館や文書館、図書館などでは、災害史に関する企画展示は度々行われていたが、2013年のように、いくつかの施設が同時多発的に企画展示を行ったのは初めてだろう。東日本大震災以降、歴史学においても災害史の見直し作業が続いている状況を考えれば、歴史災害を掘り起こし、その実態を現代社会に発信していく作業は、今日の歴史家に課せられた重要な課題である。また、歴史災害の資料を収集保管し、調査研究作業を通じて市民に発信していく作業は、地域の博物館や文書館、図書館の新たな機能

と言える。」
 全く同感である。首都圏形成史研究会は、こうした流れを一過性のものとせず、次の発展に繋げることを目的に、2014年4月に特集名と同テーマのシンポジウムを開催した。震災遺産の掘り起こしと社会への還元を述べた立命館大学都市防災研究所北原糸子氏の基調講演、大磯町郷土資料館、宮内公文書館、横浜都市発展記念館からの報告、研究者・専門家からの提言、それらを受けての討論からなり、コメンテーターの葛飾区郷土と天文の博物館橋本直子氏が「課題は大きい、今こそ個々の研究分野を充実させつつ、新たな知見を獲得し、地域に根ざした展示が求められている。」と結ぶ。この分野においてエポックとなるシンポジウムではなかったろうか。

◆三浦一族研究 三浦一族研究会
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 横須賀市政推進部文化振興課内
 TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊
 www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_info/
 ◇19 2015.3 A5 193p 800円
 口絵資料紹介・解説 都城市立美術館寄託『和田合戦図屏風』について 高橋 秀樹
 ごあいさつ 吉田雄／伊藤一美
 総会記念講演
 宝治合戦と幻の軍記物 細川 重男
 研究 相模国の知行体制と地域秩序の形成 大澤 泉
 講演会 黎明期の三浦一族一中世初期関東の勢力地図の中で 高橋 修
 入門講座 平成26年度の三浦一族入門講座を担当して 森 敏晴
 基礎講座「三浦一族 人物編4」 真鍋 淳哉
 学習講座 発掘調査から見るもう一つの鎌倉 齋木 秀雄

史跡めぐり 平成25年度 第3回
／平成26年度 第1回～2回 釵持 輝久
山中先生追悼
山中裕名誉会長へのお悔やみ 事務局
山中先生の思い、山中先生への
思い 高橋 秀樹
山中先生の思い出 真鍋 淳哉
山中先生の残されたもの 石黒 幸雄
社会教育における山中先生の人
間的考察 今原 邦彦
会員コーナー
和田義盛の宗教心 坪 三次
逗子、葉山における三浦党矢部
一族の発生 矢部 武司
三浦一族研究会平成26年度史跡
めぐりに参加して 佐々木 成
三浦一族関係文献目録(19) 中里 行雄
研究会一年の活動 事務局

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇565 (48-1) 2015.4 A5 24p 350円
有明行灯の用と美 秋澤 傑
竹製民具における材料考(1)一女
の手が作り伝えた篠竹民具 三樹 和博
書籍紹介 『わざの極意は道具に
あり―山城の瓦づくり―』展示
図録35 森本 仙介
◇566 (48-2) 2015.5 A5 24p 350円
ワラビの地下茎採取活動からみた
縄文中期農耕社会 杉山 是清
民具短信
唐箕の呼び名(2) センゴク 桂 眞幸
◇567 (48-3) 2015.6 A5 24p 350円
九谷焼の農耕図研究に取り組む前
提 中越 康介

喜多方の農耕絵馬(続)―館稲荷神
社明治四〇年奉納絵馬を中心に
(4) 佐々木長生
民具短信 弘化三年の紀年銘唐箕
について―震災被災地の民俗資
料レスキューと再発見 二本松 文雄
マンスリー掲示板 国立歴史民俗
博物館 第4展示室「民俗」特
集展示「山の流行服」

◆悠久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇140 2015.4 A5 104p 680円
《特集 言霊信仰》
エッセイ
戦後70周年について考える 楠本 祐一
古代の感情―「ことたま」巡り 藤井 貞和
記紀にみる言霊 吉田 修作
万葉集にみる言霊と儀礼一憶良
「好天好来歌」をめぐって 近藤 信義
浮遊し飛来する言と霊
―宮廷女房文学論 関根 賢司
説話にみる言霊
―民俗学の視点を絡めて 石井 正己
奄美・沖縄にみる言霊 大胡 太郎
和歌にみる言霊―富士谷御杖の言
霊論を起点に 森 朝男
口絵解説 宮城の正月きりこ 工藤 祐允
八幡宮紹介 烏帽子山八幡宮(山
形県南陽市赤湯)

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
加藤導男方 1984年創刊
◇72 2015.5 B5 49p
平成27年度を迎えて 加藤 導男

平成27年度定期総会開催 (編・記)
平成27年度全国歴史研究会新年会
開催報告 堀江 洋之
尊王討幕思想の先駆けの士・山県
大武 竹村 紘一
「朝倉山の鬼」と「大伴家持の憂愁」
高野 賢彦
高遠と絵島 清水 漠
大正地区歴史散歩の会での当会役
員の講演報告 (編・記)
「産業の米」雑感 堀江 洋之
わが少年時代 加藤 導男
戸塚～大船間のかまくら道を歩く
丸山 雅子
「おくのほそ道」ひとこま 象潟 高島 治
歴史一口メモ(33)
古代に於ける女帝(1) 前部 謙蔵
神奈川歴史研究会平成27年度
新年特別講演会の報告 (編・記)
鎌倉戦乱シリーズ(4) 山崎 宣晴
『古事記』と『日本書紀』(1) 栗 光行
NHK全国俳句大会特選に選ばれ
る (編・記)
古歌をたづねて(2)―業平と小町 丹下 重明
私の美術館巡り 藤森 詔子
東海道五拾参次 漫遊雑学記(4) 古谷 多聞
平塚の文学碑を訪ねて 加藤 慎一
平成26年度秋季歴史散歩「晩秋の
大町・材木座を巡る」 熊本 修一
「第3回 日吉落語会」開催の報告 (編・記)
全国歴史研究会 本部冬期研究会
発表大会の報告 (編・記)

中 部

◆郷土史編さん誌みなみうおぬま
南魚沼市教育委員会
〒949-6680新潟県南魚沼市六日町456-1
社会教育課郷土史編さん係

TEL025-773-2197
◇12 2015.3 A5 118p
巻頭言 地域の最も大切なものは
人が教えてくれる その地域の
住民では気がつかないことが多
い 今成 卓而
特集 南魚沼市域の郷土史「南魚
沼市域に見る郷土史研究のあゆ
み―大和地域編―」 大和地域
の歴史・地域誌の文献の紹介 滝沢 繁
ふるさと通信
龍谷寺のけんちん汁 松田 紀孝
忘れ得ぬ母校の校歌 今成 愛子
南魚沼の校歌の歴史 目黒 公司
初めての古文書講座の活動につ
いて 田村 慶一
初めての古文書講座活動記録
両村相談究証文 堀口 生雄
指上申一札之事 星野 正一
差上申一札之事 島田 尚明
願上書 今井 正二
諸役を免ずる申し渡し状 富田 敏朗
仙石蔵由来書 小熊 武雄
差上御請文書 種村 千尋
関所手形 町田 仁美
榎岡寺隠居願書 関 勝實
姥島新田神社由来 田村 慶一
白米・枕団子・赤飯の意義と変化
一人の死と出産に伴う儀礼食の
一考察 小野 博史
蔵から見た城内の食生活 横田 尚美
南魚沼市郷土史編さん日誌(抄)

◆郷土史燕
燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27
TEL0256-63-4131 2008年創刊
◇8 2015.3 A5 191p

37

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇102 2015.4 B5 12p
菖蒲の前の伝説の背景 桑原 正史
越後一ノ宮弥彦神社創建再考 江端 完治
難病と戦い続けた郷土の画家
一森田高夫 山上 健
平成26年度秋の視察旅行
柏崎地域の歴史文化を訪ねて 山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇148 2015.4 A4 20p
良寛遺墨解説(106) 良寛筆 五言
絶句(鈴木文台旧蔵) 加藤 僖一
新 良寛尊像つれづれ(10)
行灯絵の良寛 布施一喜雄作 涌井 茂
折々の良寛(37)
「布施」について 長谷川義明
平成27年度〔第38回〕全国良寛会
新潟大会(予告)
全国良寛会新潟大会 歓迎のこと
ば「おもてなし」の心で 柳本 雄司
諸手をあげて歓迎! “一笑 共に
悠々たり”の大会へ 宮迫 勇
平成27年度〔第38回〕全国良寛会
新潟大会 参加申込、宿泊等のご案内
新才能「国上」の鑑賞と見どころ 齋藤 達也
「はちすの露」を深く読む
一、良寛と貞心尼 出合い 小島 正芳
良寛さまの紙芝居 高橋 玲司
『復活の省察〔上巻〕一妻と歌う: 生くるとは深き淵より共に甦ること喜びてこそ』に寄せて 延原 時行

良寛 子らと遊ぶうた 素描 吉田 福恵
各地良寛会だより
岩室に良寛顕彰の「新しい風」
岩室良寛会副会長 山上 健
静岡県良寛会 新年会の日
静岡県良寛会会長 会田捷夫
青梅良寛の会 発足
青梅良寛の会代表 井上一郎
トピックス 会津八一記念館跡地に良寛研究センターを／新潟市
で良寛・貞心尼の法要 吉井 清一
会員の声
忘れないで…「良寛記念館」 川口 霽亭
新刊紹介 柳本 雄司
会報・会誌のご紹介

◆北陸石仏の会研究紀要
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1996年創刊

◇46 2015.4 A4 8p
法蔵菩薩の新知見 尾田 武雄
釈迦の生涯 滝本やすし
金毘羅大権現 平井 一雄
第49回例会報告 林 典子
北陸石仏の会 第50回例会一旧金
津町と丸岡町の石仏めぐり

◆加能民俗 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1950年創刊

◇158 (12-16) 2015.3 A5 10p
昭和に聞いた年中行事(2)ー加賀
市に生まれて、現在は白山市に住んでいます 立花 玲子
金沢市内芋掘り藤五郎神社境内の
忠魂碑 由谷 裕哉

センジョハナの背中アブリ
一羽咋の石動山法師伝承 大門 哲

◆加能民俗研究 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1972年創刊

◇46 2015.3 A5 79p
『竹腰清勇家大福帳』にみる諸雑
事ー白山麓焼畑・出作り家の記録 橘 礼吉
加賀・能登の建築儀礼と民俗に関する考察(2) 宮本 眞晴
北陸四県得天狗像
一昔話・伝説・世間話より 高橋 成
金沢市の虫送り行事 真山 武志

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊 kananchihoushi.com

◇62 2015.3 B5 104p
地元著作の人 北村与右衛門良忠
の『民家検労図』ー近世南加賀
の農業技術 山前 圭佑
「ねとほけさま」物語 犬丸 博雄
幕府御用銅船遭難の真相「其の1」 岡田 孝
北浅井邑の民びと・人びとの動態
一祖師聖人五百五十回忌より 浅田 三郎
「奥の細道」考 池端 大二
手の内の御書と郡中御影 城至 勝義
百姓の持ちたる国の「戦国期本願
寺教団の直参制と新訳・直参道
場」について(1) 小枝 俊弘
「久谷焼と書譜」についての研究 正和 久佳
加南地方の地名の初出・一覧表
(その1) 福田 義光

那谷寺所蔵「加州那谷寺絵図」について 室山 孝
史料紹介 御郡奉行・改作奉行
取捌年中行事(業務要綱控) 山前 圭佑
上八里小学校沿革史 橋本 正準
小松天満宮の資料二点 綿拔 豊昭
報告 青空教室に参加して 伊井 虎男

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/
◇75 2015.4 A4 4p
飯田市歴史研究所 平成27年度事業概要
報告 平成26年度文化庁文化芸術
振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業) ワーク
ショップ「伊那谷の人形芝居」を開催しました
新刊案内 飯田・下伊那史料叢書
4 近世史料編2 勤向書上帳
飯田市歴史研究所編集・発行
平成26年度研究助成報告会が開催
されました「長野原区の古文
書の解読と、古文書のデジタル
化による保存」 長野原歴史研究会

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1043 (63-4) 2015.4 A5 50p 550円
《考古学特集》
口絵 飯田市有形文化財
飯田古墳群馬四関連遺物 渋谷恵美子
飯伊の渡来人推定 桐原 健
未だに迷いが残る住居址二軒一北
垣戸一号住・増野新切D28号住

神村 透
市澤 英利
飯沼天神塚(雲彩寺古墳)保存会発
足にあたって 古川 學
竜丘の古墳保護活動と現状 下平 隆司
弥生時代の有孔磨製石鏃の製作実
験 林 正則
東日本大震災被災地での業務 羽生 俊郎
平成二十六年下伊那考古学年報 小林 正春
◇1044 (63-5) 2015.5 A5 50p 550円
口絵 下伊那教育会館 国の登録
有形文化財に一洋風建築と武家
屋敷の遺構 今牧 久
飯田町町人の役と諸負担 伊坪 達郎
近世南信州における塩の流通につ
いて 塩澤 元広
手那谷の柳原白蓮 鎌倉 貞男
徒弟制度の中で生き 吉川 節子
◇1045 (63-6) 2015.6 A5 50p 550円
口絵 久米光明寺・阿弥陀如来坐
像および薬師如来座像等の調査
と移管 伊坪 達郎
〈第4回「文化財の保護保全を考える会」
(報告)〉
開会挨拶 吉澤 健
飯伊ブロック当番市町村代表挨拶
飯田市伊澤教育長
開催趣旨 原 董
講演「文化財の概要及び南信州の
文化財の保護の現状と課題」
一建造物の場合 中野 禎仁
事例報告
国史跡「恒川官衙遺跡」の概要
と地域一行政の協働による保
護活用 松下 徹
座光寺の自然、歴史・文化の保
全、利活用への取り組み一自
治組織発足後を中心に 小島 稔

まとめにかえて 岡田 正彦
南信州の十王信仰と十王堂(中の2)
岡田 正彦
消えていくことばの文化(21・最終
回)「とぶ」「うら」 井上 伸児
上郷史学会の元会長 林登美人先
生へのお別れの言葉 中島 正韶
新刊紹介 正岡子規直門 桃澤茂
春(如水)資料(三)一追慕 編者
：桃澤匡行
菱田春草生誕地公園が完成
各市町村史学会の動き 豊丘史学
会の総会／毛賀史学会の総会
◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7
TEL0265-78-1269 年5000円
◇699 (59-4) 2015.4 A5 40p 500円
伊那電気鉄道の各種事故を検証 小林 哲
旧跡古町八幡社の跡を訪ねて 山岸 貢
2014年の井月発見句 矢島 太郎
伊那史壇の思い出 矢澤 喬治
『伊那路』総目次データベースを
ご活用ください 平賀 研也
まぼろしの上伊那郡「春富町」 北原 昌弘
「高藩探勝」の制作一命じた藩主
は果たして頼卿公か 伊藤 敦
今年の県内を中心とした御開帳
一仲仙寺御開帳と関連行事を中
心に 山口 通之
伊那谷の鷹狩り
一民俗の窓を通して(23) 吉田 保晴
文化短信 中川村公民館が全国優
秀公民館に 氣賀澤厚典
高山の植物(29) アオノツガザク
ラ 南アルプスで見かけた植物
(16) 田中 茂
◇700 (59-5) 2015.5 A5 40p 500円

『伊那路』700号の発行に当たって
上伊那郷土研究会
近代への夜明けを求めた「平田派」
の躍動一伊那・中津川を結ぶ岡
村菊叟の書簡 久保田 誼
岡村菊叟から中津川 市岡殷政へ
の書簡一幕末・維新期、高遠藩
の動向が見えてきた 池上 昭
中山道よもやま話 歴史エッセイ
編(3) 水戸浪士の墓 宮下 明子
井上井月顕彰会前会長 堀内功氏
のご逝去を悼む 伊藤 一夫
弔辞 井上井月顕彰会会長 堀内
功さんへ 北村 皆雄
伊藤伊那男著『漂泊の俳人 井上
井月』感想 竹入 弘元
伊澤修二宛ての書状の主は伊藤博
文か 北原 昌弘
古文書の窓(122) 新四国霊場建
立のための勧進帳趣意書 松澤英太郎
高山の植物(30) コケモモ 南ア
ルプスで見かけた植物(17) 田中 茂
◇701 (59-6) 2015.6 A5 40p 500円
《自然特集号》
「笠原紙」を想う
一伊那谷も和紙の里 北村 健治
上伊那で見られる中央構造線 北澤 夏樹
伊那谷のキセキレイ
一民俗の窓を通して(24) 吉田 保晴
信州浅間岳焼一件 竹入 弘元
景観行政団体移行に伴う景観計画
区域について一主に長野県内の
事例に見る特徴 山口 通之
短歌 破袋大黒柱鬼の首(8) 野溝 直人
日本の子育て(18) 少年よ、大志
を抱け、老人の私のように 大槻 武治
中山道よもやま話 歴史エッセイ
編(4) 和田峠 景観殉職事件 宮下 明子

高山の植物(31) テガタチドリ
南アルプスで見かけた植物(18)
田中 茂
◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhome/blogspot.jp
◇101 2015.6 B5 8p
表紙 ソウリョウ流し／日吉の念
仏踊り 櫻井 弘人
「悲劇の宮家」を祀る神社
一横田為雄さんと北白川宮家 折山 邦彦
戦前伊那谷の思想対立を知る
『伊那思想史(稿)』を出版 片桐みどり
書評 『長野県中・南部の石造物』
岡田 正彦
民俗学入門講座第Ⅲ期 民俗学を
築いた人びと 第5・6回講演要
旨 第5回 松山義雄一孤高の山
国ロマン(今井啓会員)、中山太
郎の民俗学一文学の世界へ(福
田アジオ所長)／第6回 後藤総
一郎一常民の学問をめざして
(高橋寛治会員)、宮本常一一人
からの民俗学(福田アジオ所
長) 今井 啓
◆史学義仲 木曾義仲史学会
〒390-1401長野県松本市波田5904-5
千村清文方 TEL0263-92-6815
年3500円 1999年創刊 shigakukai.hyu.jp
◇16 2015.5 A5 97p
巴の生涯とその軌跡 西川 早苗
源義仲に加勢した先祖
五位 源の朝臣勝重 安川 治孝

悪源太義平の墓「義平山清泉寺」
と義平の生涯 角田 正敏
ひとくちメモ
諏訪の『梶原塚』（長野県諏訪市）
鳥居峠の『義仲の硯水』
（長野県木曽郡）

◆信濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp
◇783 (67-4) 2015.4 A5 80 1000円
災害小特集
遠山川のせき止めと埋没林一遠
江地震が引き起こした地変と
その影響 村松武／寺岡義治
仁和の洪水と地域社会
一善光寺平南部を中心に 原 明芳
千曲川寂蒔に残る「戌の満水」
史料をめぐって 青木 隆幸
県立長野図書館収蔵 善光寺地
震関係文書の紹介 鬼頭 康之
大正期以降における大地主の実業
家的活動 横山 憲長
報告 平成26年9月例会
一大御食神社の獅子練り 多田井幸視
◇784 (67-5) 2015.5 A5 80p 1000円
無年季の質地請戻し慣行と直上納
制(上) 菅原 一
真田信繁(幸村)の証人時代再考 寺島 隆史
備中国新見荘における紙の生産と
流通 渡邊 太祐
研究ノート
島立右近とイヌイの城 鎌田 宣之
◇785 (67-6) 2015.6 A5 82p 1000円
《隣県特集号 隣県地方史学界の動向
一平成26年(2014年)》
山梨県地方史研究の動向

野代恵子／西川広平／高橋修
新潟県地方史研究の動向
石原正敏／浅井勝利／田嶋
悠佑／渡部浩二／田邊幹
群馬県地方史研究の動向
深澤敦仁／森田真一／丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
石坂俊郎／新井浩文／実松幸男
富山県地方史研究の動向
古川知明／松山充宏
／尾島志保／森俊
長野県地方史研究の動向
櫻井秀雄／福島正樹／山崎
会理／田玉徳明／三石稔

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇300 2015.4 A5 56p 800円
《300号記念》
表紙・口絵 北陸新幹線金沢延伸
と善光寺御開帳を控えた長野駅
小林竜太郎
『長野』三百号に寄せて 小林 一郎
長野県内の他の雑誌と比べた『長
野』の特徴 小林竜太郎
『長野』創刊号～300号発行年月一
覧
『長野』創刊号～200号目次一卷頭
論文を中心に
『長野』201号～300号目次
絵解きでつながる北陸と善光寺
一富山大和デパートで絵解き 小林 玲子
私たちの会のあゆみ
新刊『「釈迦如来図」と長野の絵
解き一台湾と解説』小林一郎・

小林玲子著、長野郷土史研究会
テキストブック『絵解きで伝え
る善光寺参り一千年前から千年
先へ』小林一郎・小林玲子著
善光寺御開帳に関連した各地の動
き
御開帳中の「善光寺参りの絵解き」

◆長野県民俗の会会報
〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 1978年創刊
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇37 2015.3 A5 97p
月小屋・産屋をめぐる民俗思想
一穢れ観の変容に注目して 板橋 春夫
信州における山蚕飼育の現状
一衰退とその問題 倉石あつ子
南佐久郡佐久穂町大日向地区にお
ける葬送儀礼の変容
石川航平／尾形幸輝／窪庭勇輝／齋
藤琴音／齋藤隆宏／高橋信博／高畑
啓一／永池航太郎／林裕行／藤原尚
哉／横木星／米田陸王／和田麦彦
窪庭空穂の随筆にみる民俗 福澤 昭司
博物館に寄贈される資料の性格 小森 明里
谷川健一先生の残したもの 征矢野俊子

◆長野県民俗の会通信
〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇247 2015.5 B5 8p
民家建築と本棟造り(上) 多田井幸視
「民家を学ぶ」一長野県民俗の会第
193回例会報告 三沢枝美子
女性と養蚕(下) 倉石あつ子
書誌紹介 福田アジオ著『民俗学

のこれまでとこれから』 福澤 昭司

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇89 2015.4 A4 8p
表紙 塚奥山遺跡出土 SB6住居
出土縄文土器 揖斐川町塚奥山
遺跡出土
企画展「タイムスリップ! 大む
かしのくらし」
企画展「国重要無形民俗文化財指
定記念 鵜飼」
柳津歴史民俗資料室「端午の節句」
博物館ニュース「ちょっと昔の道
具たち」大好評!
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 風景との出逢い」
平成26年度受贈資料
館蔵資料紹介 掛看板 月宮丸
明治20年代～大正時代

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊 年2000円
www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇95 2015.4 A4 4p 300円
金銀豊かな美濃国 吉川 祐子
寄贈資料紹介
◇96 2015.5 A4 4p 300円
美濃南宮大社の遷幸舞 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇439 2015.4 B5 4p 100円

4月例会レジュメ
 浜岡原発の経過と地震 林 弘文
 書籍紹介 静岡県近代史研究会
 『時代と格闘する人々』 橋本 誠一
 2月幹事会の報告 小池 善之
 ◇440 2015.5 B5 4p 100円
 5月例会レジュメ 『しずおかの女
 たち』第八集を読んで 小池 善之
 楫取素彦と足柄県 樋口 雄彦
 6月例会企画「資料見学の旅・旧
 大東町(現掛川市)に行く」のご
 案内 橋本 誠一
 ◇441 2015.6 B5 4p 100円
 6月例会「資料見学の旅・旧大東
 町(現掛川市)に行く」にあたっ
 て 岡村 龍男
 資料紹介 妻から夫への離縁状 橋本 誠一
 萩原又仙子という人 樋口 雄彦

◆静岡県民俗学会会報
 〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101
 web.thn.jp/s-folklore/
 ◇155 2015.4 A4 4p
 平成27年度 総会および創立40周
 年記念大会 海からの富士・山
 からの富士
 記念講演要旨 大高康正氏「富士
 参詣曼荼羅にみる富士山表口の
 信仰空間ー静岡県の富士山信仰」
 ／堀内眞氏「富士の御山参詣ー
 富士禅定からお富士参りへ」
 第2回例会報告 研究発表 大嶋 善孝
 たべられない鯉節 川口 円子
 静岡の民俗語彙・方言短信
 ナルイ／コソクル、コソクリ 川口 円子
 ゴウタイ 外立ますみ
 博物館情報／トピック 焼津市花
 沢集落が重伝建に／受贈図書・

刊行物紹介

◆駿河 駿河郷土史研究会
 〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
 富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
 1965年創刊
 ◇69 2015.4 B5 158p
 表紙解説 富士でのディアナ号乗
 組員救助物語 加藤 昭夫
 巻頭言 「仏像を文化財廬に見る
 だけでなく、仏様を拝む…」 加藤 昭夫
 吉原宿の間屋・本陣・脇本陣の考
 察 渡辺 誠
 絵図に見る江戸時代の東海道(1)
 中吉原宿とその周辺 田辺 泰弘
 中吉原宿考 荒川 辰美
 富士飛行場と中国人強制連行(1) 加藤 善夫
 『野村弥左衛門の生涯』 若竹 秀信
 道祖神入門(4)
 ふるさとの道祖神・芝川編 松野 紀一
 日常生活の数学 渡辺 照好
 駿州 赤心隊の結成と活躍 矢崎 巖
 武田信玄の駿河侵攻 高田 國義
 簀桁製作の記録から垣間見られる
 岳南周辺の手漉きの状況ー旧清
 水市興津 藤波簀桁製作所の記
 録をもとに 内田 昌宏
 会議(総会・理事会・事務局会議・
 各専門部等)の活動報告

◆歴史論叢 静岡県歴史研究会
 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
 篠原旭方 TEL054-286-8659 1990年創刊
 ◇7 2014.3 A5 171p
 静岡郷土学のすすめ 篠原 旭
 捨て子だった舍人皇子 大川 誠一
 ペリー来航に対する井伊直弼の考
 えー初度存寄書と別段存寄書の

比較 鈴木 康弘
 駿河守護(三代)今川泰範の時代 松葉屋幸則
 駿府 維新の覚え書き 深津 至輝
 古代地震 望月 古直
 「西郷・山岡の静岡会见」記に思う 松本 検
 『歴史論叢』第7号の発刊に寄せて 鈴木 康弘
 静岡歴研会報総目録(7)
 『歴史論叢』バックナンバー目録

◆あつた 熱田神宮官庁
 〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
 ◇246 2015.4 A5 40p
 熱田雑集二 太田 正弘
 創祀千九百年記念造営事業の回顧
 (3) 小久保雅広
 「熱田神宮古絵図」のものを語る中
 世の姿 嵯峨井 建

◆いにしえの風 古代遊学会
 〒456-0801名古屋市緑区鳴海町山ノ神
 125-5
 ◇11 2015.5 A4 148p
 特別寄稿・三世紀前半の美濃の古
 墳ー夕田茶臼山古墳から美濃の
 古墳時代の始まりを考える 島田 崇正
 「箸墓」以後の政權構造を考える 東山 勝也
 王朝の歌人・紀貫之 久野 愛子
 足柄峠一峠に立つ防人の歌 矢澤 泰三
 古代豪族「尾張氏」の尾張地域か
 らの対外進出ー『和名類聚抄』
 記載の尾張郷四郷の分析から 高木 巖
 旧暦の誤解を解くー朔旦冬至再考 西部 賢一
 水系と馬と尾張氏 尾関 章
 古代神話の里「水上」 川本 邦子

神社と古代史ー倭国の曙の時代 西山 勤
 支石墓を巡るー中国遼東半島ー朝
 鮮半島ー日本西北九州 水谷 康子
 準構造船から構造船へー構造船へ
 の進化の時期をさぐる 松尾 秀藏
 鉄の古代史 加藤 甫
 ひめみこ(皇女)の行方 亀岡やすこ
 古代史方法論へのアプローチ
 ー歴史をどう読むかを考える 石川 元廣
 既刊「いにしえの風」紹介

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会
 〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
 刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000
 1980年創刊
 ◇36 2015.3 A5 105p
 文化講演会 トモモーターと天才
 ライダー川真田和汪 富成 一也
 古代の固形塩について 伊藤 利和
 鎌倉街道と刈谷 渡邊 健二
 村上忠順と伊勢神宮動座反対運動 山田 孝
 熊木直太郎の子守教育 加藤修／竹中兼利
 三浦逸平と刈谷 竹中 兼利
 入門・明治用水 加藤 幸一
 『加藤与五郎先生のアメリカ旅日
 記』こぼれ話 1958年アメリカ
 旅行同行者 徳江 哲夫
 だが「フェライトの父」と言っ
 たかー加藤与五郎とジョージ・
 エコノモス 鈴木 哲
 「刈谷新聞」に見る1950年代の刈谷 岡本 建国

青函連絡船洞爺丸沈没60年
 船長・近藤平市の墓 三ツ松 悟
 市内研修会 金山揚水場と内藤魯
 一・乾蔵居宅 矢田 直幸
 県内研修会 信長・秀吉が見つめ

た尾張津島巡り一津島神社・天王通り散策・太鼓工房・堀田家住宅 長 嶋 秀雄
平成26年度の歩み・平成27年度予定
表紙表 株式会社トヨモータース製「トヨモーターD T型」
表紙裏 昭和24年(1949)株式会社トヨモータースにおける「トヨモーター」1号車完成

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880 1966年創刊
◇99 2015.5 A5 80p 500円
表紙 山海龍江寺の廻船絵馬 中村 祥
南知多に残る戦争遺跡
大井「回天」基地の行方 山下 泉
「みなみ」原稿募集
第百号の発刊に寄せて 編 集 部
昭和五〇年 町道内海山海線測量
から四〇年 大岩 隆
南知多町の龍龜信仰 森 崇史
花鳥画を得意とした画家
森田揚甫 大岩 泰彦
本能寺の変後の美濃・尾張の平定
と徳川家康一本能寺の変「第二章」 安原 俊実
マラソン王日比野寛 内田 恒助
私の小学生の頃 内田 白花
弱虫変身九十九 内田 辰男
豊浜の寺院巡り 内田 卓男
知多地名譚(6)
試論 臥竜寺本郷 加藤喜代吉
てんぐ山／年末にもちをつかない
家 南知多町誌
南知多の人 小田礫浦 中村 祥

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
TEL052-935-2173 1980年創刊
housa.city.nagoya.jp
◇90 2015.3 A4 8p
表紙 御書籍目録(元和・寛永)
平成27年4月11日～6月7日 展示
室1・2 尾張の茶道と香道
平成27年6月10日～7月26日 展示
室1 異国への窓一阿蘭陀・波斯・印度／展示室2 殿様が愛した鳥たち
平成27年8月1日～9月13日 展示
室1・2 徳川美術館 徳川美術館・蓬左文庫開館80周年 夏季特別展「没後四百年 徳川家康一天下人の遺産」
「国登録有形文化財」登録記念報告 徳川園の建築文化財(1) 畔柳 武司
表紙 御書籍目録(元和・寛永)
江戸時代(十七世紀)写

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇577 (55-3) 2015.5 B5 8p 600円
新刊紹介 土佐民俗 第98号 無形の民俗資料記録集 土佐民俗学会編集
群馬・行幸田獅子舞 石川 博司
えびす信仰の世界(3)一戎舞の鯛釣り舞いと傀儡師の信仰を中心に
にして 大森 恵子
博物館情報 特別展示「大神楽掛け曼荼羅」平成27年4月7日～5月24日 豊橋市美術博物館
表紙写真のことば 青柏祭 石川
県七尾市 5月3日～5日 渡辺 良正

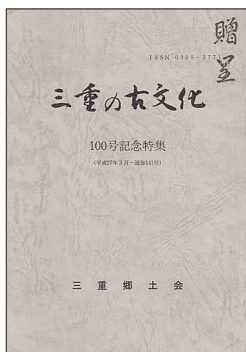
◆皇學館大学研究開発推進センター紀要
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 kokushi.kogakkan-u.ac.jp
◇1 2015.3 A4 195p
講演 伊勢の式年遷宮 中西 正幸
シンポジウム 東アジア及び東南アジアにおける神仏習合・神仏関係 コーディネーター 菅野覚明
司会 多田實道
発題1 日本における神仏習合一僧のもたらした神々 河野 訓
発題2 中国における神仏習合一六朝期江南における原型の成立と展開 北條 勝貴
発題3 タイ上座仏教と神々への信仰 矢野 秀武
伊勢神宮の創祀について 荊木 美行
『延暦儀式帳』所蔵機関目録(稿) 佐野 真人
資料紹介
江戸時代末期尾州常滑の下り廻船一勢州の間屋 八木意知男
大主家文書目録について 荊木 美行
「大主家文書」について 千枝 大志
皇學館大学 佐川記念神道博物館
小史 岡田 芳幸
皇學館大学附属図書館小史 吉崎 久

◆皇學館大学研究開発推進センター年報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 kokushi.kogakkan-u.ac.jp
◇1 2015.3 A4 156p
センター長挨拶 岡野 友彦
概要(沿革、機関年表、組織・施設)
平成25年度事業報告(研究推進事業、神道研究所、史料編纂所、佐川記念神道博物館)
平成26年度事業計画(研究推進事

業、神道研究所、史料編纂所、佐川記念神道博物館)
刊行物(平成25年度刊行物、平成26年度刊行物)
教育普及(公開講座報告及び案内、佐川記念神道博物館の利用及び団体見学、統計資料)
社会連携
資料利用・広報活動・マスコミ取材(資料利用、広報活動・マスコミ取材)
調査記録及び研修会等への参加(調査記録、研修会他参加)
収集資料・図書・雑誌・社報ほか(新収蔵資料、新収蔵図書・雑誌・社報ほか)
活動記録(利用案内、規程・規則他)

◆三重の古文化 三重郷土会
〒514-2305三重県津市安濃町清水1008
浅生悦生方 TEL059-268-2671
年4000円 1947年創刊
◇100(通141) 2015.3 A5 326p
《100号記念特集》
創刊100号にあたって 西川 洋
私と郷土会 茅原 弘
弥生時代の辰砂採掘遺跡一松阪市
太田・白ヶ谷遺跡の概要 奥 義次
平清盛の信仰と「まつりごと」に
関する一考察 加山 久富
作善日記「いる宮」再考
久志本鉄也／久志本まどか
伊勢の西行と神照寺文書について 石井 昭郎
「愛洲氏が城之事」の縁由を求めて
中世古祥道
コラム 新博物館の怪談

勢州仏足石巡礼記 濱口 圭一
歴史と信仰の山、長谷山・経ヶ峯
一とりまく遺跡・遺物・伝承 浅生 悦生
資料紹介 江戸後期の奥熊野矢口
浦の俳人 五味季峯の発句を中
心にして 湊 章治
伊勢参宮土産「木下おこしま」 藪本 治子
幕末・維新期の伊勢商人
一小林清左衛門家の場合 大喜多甫文
書家松田雪柯の東京日常(1) 福永 昭
松浦武四郎収集の銅鈴・白玉・瓦
経 小玉 道明
旧三重県の士族卒数と家禄奉還等
一県庁文書の統計的処理を中心
に 吉村 利男
「自由民権」政治から「地元利益」
政治へ 西川 洋
明治期の松阪木綿について 松村 勝順
重要文化財「潮吹き防波堤」の築
造について一新聞、県会・市会
の史料紹介を兼ねて 石原 佳樹
『猪名部』と並河豊君追懐一続六
考古少年のノートから 岩野 見司
文化のなかのオオサンショウウオ
清水 善吉
伊坂城跡のこと 清水 弘子
史跡の国指定と住民参加一四日市



市大矢知町久留倍官衙遺跡 早川 裕己
史料復刻 鈴鹿市「来田家」文書
三重郷土会古文書勉強会
新聞記事から 下村登良男
事務局日誌 浅生 悦生
*1947年に創立された三重郷土会の機関誌
「三重の古文化」が100号を迎えた。1947年創
刊の「三重郷土会誌」から、「三重郷土会通
信」「三重郷土会報」「三重郷土会々誌」「三
重の古文化」「三重の文化」と変遷し、一時
の中断を経て1979年に「三重の古文化」を復
活して今日に至っている。100号まで号数は
1956年の「三重の文化」を起点としているが、
創刊からの通号では141号になる。
この間の会の歴史と活動については、1951
年に入会して60年、常務理事として50年の長
きにわたって会を牽引した茅原弘氏が「私と
郷土会」として記している。同氏が引き継い
だ当時の会員数は約300人。その後も、300か
ら400人を維持して来たという。その努力は
ひとかたならぬものがあつたに違いない。
100号記念特集の本号は、A5判、326頁とい
う浩瀚なもので、20本の論考と鈴鹿市「来田
家」文書の復刻、コラム、郷土関係の新聞記
事紹介からなる。

近 畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生
会館 TEL077-522-8369 年2520円
1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp
◇151 (39-2) 2015.4 B5 92p 584円
《特集 竹は力!》
新しい動き 野間 直彦
竹林を守る活動紹介
やす緑のひろば(野洲市) 熊本 正幸
八幡山の景観を良くする会
(近江八幡市) 村西 耕爾

彦根雨壺山・護林会(彦根市) 大野紘一郎
湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部
(高島市) 阿部 和子
犬上川開出今地区竹林愛護会
(彦根市) 西関日出男
滋賀県立大学エコキャンパス・
プロジェクト 安原 輝
竹あれこれ
南京玉スダレ 待 文麻呂
東近江大風
おもしろ近江考古学(3) ココヤ
シ人面容器(守山市下之郷遺跡)
松浦 俊和
四季をめぐる健康食 春編 『血
糖値』に関心をもちましょう!
鳥の目巡遊(3) 水辺景観2題 延木由起子
元気な商店街その魅力(8)
石山商店街(大津市)
湖国藝術紀行(16)
貝原益軒『西北紀行』 山本 晃子
天下人「信長」の実像(6)
信長の対人関係 高木 敎子
滋賀文化事情
Chapter1 読者交流会
Chapter2 創刊150号記念姫野
カオルコ講演会
Chapter3 文化・経済フォーラ
ム滋賀 「文化で滋賀を元気
に!賞」、近江遺産と近江
八百八景選定を提言
Chapter4 「湖国と文化」パッ
クナンバーと特集テーマ
近江の水をめぐる(10)
音の水、呼び名の水 石川 亮
わたしと湖国(8) 子育て世代こ
そ芸術と対話する時間を 岡本 早苗
北から南から
高時川の真竹を「お水取り」に

奉納 眞壁 四郎
長浜で開催、ビブリオバトルっ
て何? 清水 貴子
芭蕉の弟子・向井去来は長崎の
人 赤尾 和美
綱引きの結果、今年も豊作 編集室
音楽の街目指して頑張れ、守山
! 奥野寿美子
ニュースの小箱
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
(16) 戦国武将、名工ゆかりの
地を巡り 豊郷から多賀大社へ
加藤 賢治
シリーズ ふるさと遊彩(5)
高島市畑 田中陽一郎
歴史文書は語る 県政史料室から
(15) 滋賀県誕生 初代県令
松田道之 大月 英雄
三角点の山と私(4) 花の山
シャクナゲの群落が楽しめる
サンヤリ(仏供さん山) 久保 豊和
古来より知られる歌枕の山 鏡
山 竜王町・野洲市境 久保 滋子

◆戦国史と人 女風林火山

戦国史と人を学ぶ会/武田勝頼・松姫探究
会 〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-
11 年1400円
◇56 2015.5 B5 92p
《特集 本能寺の変と近衛前久・日珖》
本能寺の変の新資料〔明智家譜〕
(熊本県立図書館蔵)の真偽を探
る(続編) 首藤 義之
再検証 本能寺の変 近衛前久関
与説 首藤 義之
戦国史史跡案内 第1回 妙國寺
戦国史特報 北条氏直室の督姫
(家康次女)の読み方に新説

戦国史・歴史小説新刊の書評切り抜き
戦国史新聞記事の切り抜き

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp

◇109 2015.6 A4 4p
シリーズ 直弼のころ 企画展
8/21～9/15 忠義の人 遠城謙道—主君直弼への思いと禅画／テーマ展 6/1～7/7 大坂の陣四〇〇年 彦根藩士たちの大坂夏の陣／特集展示 6/1～7/7 滋賀県指定有形文化財指定記念 彦根藩井伊家歴代の甲冑／テーマ展 井伊直弼のこぼし手紙にあらわれた人柄／特別展示 9/18～10/20 一期一会の世界 大名茶人 井伊直弼のすべて 能・狂言 水無月狂言の集い／井伊直弼公生誕200年祭関連事業 第49回彦根城能 研究余録 金亀玉鶴 井伊直弼隠居時代の彦根藩政 渡辺 恒一

◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com

◇619 2015.4 B5 12p 400円
洋算の受容についての覚書 大喜多紀明
『信長公記』連続講座開催
—近江公民館にて 長谷川博美
伊吹山麓の木材運搬用具について 粕渕 宏昭
焙烙（ほうろく）について 粕渕 宏昭

吸取器について 粕渕 宏昭
庶民(近江)の生活と民俗(14)
—山田漁師の蓑巻網漁(後) 菅沼晃次郎
金沢の菓子「金華(花)糖」について 粕渕 宏昭
散蓮華(または蓮華)について 粕渕 宏昭
石造物調査からみた民俗信仰について(1)—浜松市の事例 田中 春二
私の人生観が変わった 菅沼晃次郎
◇620 2015.5 B5 12p 400円
近江中世石造美術石材ノート
花崗岩製石造美術(2) 兼康 保明
七尾山砦探訪
—米原市旧伊吹・浅井町 長谷川博美
上行寺東遺跡の「造形保存」された「やぐら」—横浜市金沢区 大喜多紀明
けん突きについて 粕渕 宏昭
庶民(近江)の生活と民俗(15)
青花紙づくり—草津市木川町 菅沼晃次郎
ジュラルミン製の鍋について 粕渕 宏昭
◇621 2015.6 B5 12p 400円
「華表」について—神社の鳥居 関 啓司
「花表元」について 関 啓司
明智光秀幻想一夜と藤と佐目 長谷川博美
近江椿坂探訪—長浜市余呉町 長谷川博美
野島稲荷神社の垂れ水
—横浜市金沢区 大喜多紀明
烏(カラス)の接ぎ木のガム 西浦 左門
里芋洗いの用具について 粕渕 宏昭
琵琶湖 沖の島の民俗(1) 菅沼晃次郎
人類は何故いつまでもお互いが争うの… 菅沼晃次郎

◆京都府立大学文学部歴史学科
フィールド調査集報
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
◇1 2015.3 A4 119p
創刊にあたって

例言
第Ⅰ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)
大宮壳神社の資料調査と展示
京都府立大学文学部考古学研究室・中世史研究室
舞鶴市の文化遺産調査と活用 上杉 和央
舞鶴市立舞鶴幼稚園の資料整理と130周年記念事業—京都歴史資料の調査・活用・公開(1) 東 昇
舞鶴幼稚園記念誌『舞鶴幼稚園130年のあゆみ』の刊行 池田由里奈
舞鶴幼稚園の資料展示 樋口 隼
舞鶴幼稚園の130周年記念式典と講演会 原田 直美
京田辺市所蔵歴史資料の調査と市民ボランティア—京都歴史資料の調査・活用・公開(2) 東 昇
上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究 藤本 仁文
和東町の歴史と文化遺産 向井 佑介
宇治茶の生産・流通に関する調査 上杉 和央
第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)
滋賀県東近江市の文化的景観調査 上杉 和央
屋島の名勝的価値に関する調査 上杉 和央
愛媛県松野町の文化的景観調査 上杉 和央
沖縄県豊見城市の調査 上杉 和央
第Ⅲ部 文化遺産デザイン研修報告
AR動画作成の軌跡—「岡崎どこいこトコトコトコ街図」の取り組み 文化遺産デザイン研修

「京都の歴史を歩こう! 2014 岡崎編」歴史遠足報告 井上 真美
岡崎プチまち歩き「動物園から見る岡崎」を担当して 田島 靖大
第Ⅳ部 文化遺産フィールド研修報告
兵庫県篠山市の文化遺産—フィールド研修2014について 向井 佑介
報告編
篠山市の歴史文化をいかしたまちづくり兵庫県篠山市の文化遺産—フィールド研修2014について 高橋 一壽
一般社団法人ノオトへの聞き取り調査 近藤 史昭
福住地区での研修 壁谷 奈央
波々伯部神社での聞き取り調査 上中 理帆
辻集落の山城と旧国鉄篠山線についての研修 西垣 剛志
篠山市域の中近世城郭を中心とした研修 岩永 紘和
論考編
歴史文化遺産をまちづくりにどう活かすか 奥谷 三穂
篠山市の古文書について—『楽翁文書』と『丹波篠山藩「青山家」古文書』 稲穂 将士
波々伯部神社の文化財 山崎祐紀子
波々伯部神社で採集した須恵器から 野田 優人
付録 文化遺産と出会って—感想集

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊

www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
 ◇80 2015.6 A5 192p 1500円
 《創刊二十周年記念》
 創刊二十周年を迎えて 中村 修
 2014年・古代史総括 森岡 秀人
 小山田遺跡についての若干の臆測 塚口 義信
 玉手より祭り来たる酒解神（補充
 編） 中村 修
 会員ひろば（小休止）
 創刊二十周年記念号に寄せて 白名 一雄
 本誌への御礼と所感と「尾張氏
 論」余話 尾関 章
 八紘為宇と八紘一字 中村 修
 アンデス通信(33) 市木 尚利
 日本書紀研究会編『日本書紀研
 究』第28冊～横田健一先生追
 悼号 書評 水谷 千秋
 日本書紀研究会編『日本書紀研
 究』第29冊～横田健一先生追
 悼号 書評 西川 寿勝
 日本書紀研究会編『日本書紀研
 究』第30冊～第30冊記念号
 書評 内田 正俊
 小特集 『古代史の海』創刊20周
 年記念一言集
 歴史上の重要問題の発掘 直木孝次郎
 齢 平林 章仁
 故福本正夫さんとの交流の一端 石野 博信
 二十周年記念号の発刊によせて 堀口 清視
 創刊20周年おめでとうございま
 す。 溝口 睦子
 「場」の古代史 渡里 恒信
 『古代史の海』創刊20周年おめ
 てください。 市木 尚利
 『古代史の海』20周年によせて 中井かをり

『古代史の海』創刊二十周年に
 よせて 河野 宏文
 祝『古代史の海』20周年 下司 和男
 『古代史の海』創刊二十周年お
 祝い申し上げます。 坂田 隆
 創刊20年おめでとうございます 長野 靖
 創刊20周年おめでとうございま
 す 栗津 茂樹
 古代史の海 邑川 誠司
 創刊二十周年おめでとうございます
 ます 河越 尚司
 文化の「社会的遺伝」 上遠野浩一
 尾張氏の本貫地について一尾関章
 氏の尾張氏論に対して 上遠野浩一
 「不改常典」の考察 小阪 徹
 百済観音の飛鳥時代(3) 山下 輝幸
 百済観音の概要 山下 輝幸
 止利仏師とその工房についての一
 考察 山下 輝幸
 悲壽の人・福本正夫(8) 中村 修
 『古代史の海』総目次
 第61号～第80号

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
 ◇853 (85-3) 2015.3 A5 36p 916円
 狩野常信筆「明皇花陣図巻」に
 ついて(下) 寺本 健三
 日本の塔百選(32) 浄土寺多宝塔 中西 亨
 全形拓「立体物」創作 大橋 利彦
 第1002回例会 東三河・豊川の三
 河国分寺とその周辺の文化財を
 訪ねて 水野 孝文
 ◇854 (85-4) 2015.5 A5 36p 916円

九州様式石塔について―その源流、
 発生、展開及び分布について(1) 佐藤 満
 日本の塔百選(33) 中西 亨
 備後明王院五重塔
 京都山科毘沙門堂燈籠の謎(続)―
 比叡山延暦寺に旧東叡山大猷院
 靈廟銅燈籠を追う 石塚 雄三
 2014年度(秋季)「石造美術勉強会」
 報告(3) 品角阿止美
 ◇855 (85-5) 2015.6 A5 32p 916円
 口絵 昭和42年解体修理工事完了
 直後の遍照院三重塔の雄姿／和
 鐘の固有振動数解析の試み
 九州様式石塔について―その源流、
 発生、展開及び分布について(2) 佐藤 満
 和鐘の固有振動数解析の試み 安田 成
 日本の塔百選(34) 遍照院三重塔 中西 亨
 第1003回例会 京都市東山「建仁
 寺」山内 品角阿止美
 第1005回例会 滋賀・近江八幡市
 ・野洲市の仏像と石造 岩崎 幸一

◆地名探究 京都地名研究会

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636
 年3000円 2003年創刊
 www.geocities.jp/Kyotochimei/
 ◇13 2015.4 A4 72p
 巻頭言 池田末則先生と災害地名 綱本 逸雄
 講演
 木簡が語る古代丹後 糸井 通浩
 ハザードマップが警告する危な
 い地名―京都盆地 綱本 逸雄
 『万葉集』の地名「鷺坂」 真下 厚

丹波式内社による丹波猿楽の考察 櫻井 雅子
 八幡信仰と地名伝承 石田 天祐
 忘れられた言語学者 藤岡勝二―
 京都が生んだ泰斗とそのローマ
 字表記をめぐる 柿木 重宣
 京都市西ノ京・星池町辺り―三条
 の右大臣・藤原良相邸跡 山崎 泰正
 一遍の遊行と『一遍聖絵』の「よ
 とのうへ乃」 梅谷 繁樹
 丹波・但馬・丹後の記紀における
 国名の扱い 水野 孝典
 京都下鴨の出雲路と出雲井於神社 大野 克二
 記録 平成26(2014)年度京都地名
 研究会・活動報告
 付録 京都地名研究会『地名探究』
 創刊号～第12号目次一覧

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
 www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
 ◇328 2015.4 B5 12p
 根来寺の氏人について 井田 寿邦
 昭和初めの佐野漁業(5) 北山 理
 たそがれの泉州弁(7) 中野 恒一
 ◇329 2015.5 B5 12p
 歴史上の人物名をどう読むか――
 条兼良・冬良は「かねら」「ふ
 ゆら」か「かねよし」「ふゆよし」
 か 廣田 浩治
 昭和初めの佐野漁業(6) 昭和14
 (1939)年 戦前の天草・海草採
 り 話者：向井八重子 北山 理
 紹介 熊取町古文書集成Ⅱ 貫名
 菰翁書簡集 泉州の古文書を読
 む会

蟻通神社遷座70年奉賛記念事業
ありとほし薪能公演(前)
◇330 2015.6 B5 12p
「兼葭堂日記」にみる食野・唐金
家および泉州佐野について(3)
よねかすゆうたろう
熊野古道の旅(第21回)
熊野古道の旅(1) 北山 理
蟻通神社遷座70年奉賛記念事業
ありとほし薪能公演(後)
和泉の中世城郭(36) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(8) 中野 恒一

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会
〒599-0223大阪府阪南市光陽台4-5-25
林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊
www.eonet.ne.jp/~minshushi/
◇69 2015.5 A5 120p 1000円
表紙きりえ 山間の集落(ベトナム・モン族の村) 田宮 勝美
戦後大阪における在日朝鮮人生徒
の教育と公立朝鮮中学校の成立
(上) 赤塚 康雄
大阪生野舎利尊勝寺と在日韓国朝鮮人納骨簿 二宮 一郎
アウシュビッツを訪ねた日一大量
虐殺の原型と「ファシズムの心
理構造」 林 耕二
大阪府北河内における「避病院」
関係資料について一明治・大正
期の岡嶋家文書より 松浦由美子
八十五年の追憶(下)
一満州からの脱出行 村上 忠士
報告「国会期成同盟発祥の地」建
碑30周年のつどい 於太融寺
グラビア(裏表紙) 高知の自由民
権運動と社会運動を訪ねて 福田 耕
会員の共著書 神阪京華僑口述記

録研究会編『聞き書き・関西華
僑のライフヒストリー』第6号
(神戸華僑歴史博物館)

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショッパー兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇367 (32-3) 2015.3 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(10)
「お岩さん」 井川 光正
平成27年2月例会報告(第342回)
「我家の家宝の修復(掛軸)と過
去帳」一東日本大震災に遭遇し
て 松坂定徳氏 (磯崎)
会員講座・第15回「古文書から
読み解く」寺井正文氏 (寺井)
特別寄稿「阿豆流為 母禮之碑」
建碑二〇周年記念法要を実施(下) 松坂 定徳

◇368 (32-4) 2015.4 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(11)
「葛飾北斎の『百物語』」 井川 光正
平成27年3月例会報告(第343回)
「吉田松陰のヒューマニズムと
その問題点」(前)一松陰の人間
愛とアジア (中澤)
◇369 (32-5) 2015.5 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(12)
「蚊帳の前の幽霊」 井川 光正
平成27年4月例会報告(第344回)
「外国から見た日本の文化」イ
ワン・V・プロホルフ氏 (寺井・中澤)
会員講座・第16回「卑弥呼の時
代に思うこと」磯崎素子氏 (磯崎)
松坂名誉会長が日経新聞に寄稿し
ました。

◇370 (32-6) 2015.6 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(13)
「白蔵主」 井川 光正
平成27年5月例会報告(第344回)
「道教の過去と現在」大形徹氏 (片倉)
春の見学会 報告
「大阪らくご散策 Part2」 (和久)

◆家系研究 家系研究協議会
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 1981年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇59 2015.4 B5 110p 1500円
多々良姓大内氏とその同族諸氏
(下) 宝賀 寿男
阿波藩士の安原氏について 安原 繁俊
珍姓のルーツ(24) 中田みのる
肥後(熊本藩士)の山形氏について
(2) 相良 一夫
真説津軽為信物語(終編の2)一大
石内蔵助の高祖母共近衛卿の落
胤か、時慶卿記の真実 佐藤 博
小寺政職について 須貝 隆弘
日本人の珍姓マップ(1) 畠山 一篤
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(7-1) 浪平 博司
「文楽」の由来と戦後史 川村 一彦
コラム ここでちょっとコーヒー
ブレイク 吉田松陰の先祖は…
馬原 浩一
表紙家紋「三つ葛の葉」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇52 2015.4 B5 8p
家研協文庫ようやく始動 馬原 浩一
家系研究協議会 平成26年度 秋
の例会報告「平維盛は『平家物
語』になぜあの様に書かれたか」
坂本顕一郎氏 (馬原)
家研協たより／家系研究協議会次
回例会予定
珍名さんいらっしやい(46) 眞野 幹也
図書出版案内／受贈図書・資料

◆河内長野市郷土研究会誌
〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394
年3000円 1979年創刊
◇57 2015.4 B5 96p
日の丸 浅井 五郎
加賀田八幡宮と堺の豪商 松尾巴留美
明治時代の河内長野の商工・観光
について 松本 弘(裕之)
西国三十三度行者の満願供養とそ
の供養塔一錦溪山極楽寺史料か
ら見えるもの 玉城 幸男
鬼住村研究 中世・室町時代
惣村・鬼住惣の時代
工房鬼住・中筋喜春(喜昭)
郷土研究会創立50周年記念一河内
長野市100問委員会の活動報告
(2) 松本 弘(裕之)
報告 第15回知ったはりまっか?
河内講座 椋本 進
平成26年度 事業報告 杉田定嗣／岩根昭男
河内長野市文化遺産活用事業実行
委員会(文化庁支援)事業(平成
26年度) 椋本 進
河内長野市文化連盟事業報告
(平成26年度) 椋本 進
記念事業委員会報告(平成26年度)

安原 幹也

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇785 2015.4 A4 8p 300円
河内における西大寺流律宗集団 佐藤 亜聖
奈良奉行・川路聖謨と佐紀古墳群
森下 恵介
◇786 2015.5 A4 10p 300円
京都・伏見丘陵の古社寺と古墳 泉森 皎
「大坂の陣」合戦場を巡る(1) 来村多加史
◇787 2015.6 A4 10p 300円
塔と楼閣—京都駅周辺をめぐる
矢ヶ崎善太郎
飛鳥古墳の被葬者たち 猪熊 兼勝

◆近畿民俗 近畿民俗学会
〒569-0055高崎市西冠2-5-5 伊藤廣之方
TEL072-661-0873 1949年創刊
◇181 2015.5 A5 42p
東本願寺における御堂衆座席御免
手続き次第 奥山 芳夫
『天地始之事』に取り込まれた日
本の伝説—島の海没伝説をめぐ
って 林 英一

◆左海民俗 堺民俗会
〒593-8302堺市西区北条町2-10-11
佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
◇148 2015.5 B5 8p
《テーマ 民話・伝承・言い伝え》
神功皇后の宮殿跡 岸 繁司
深夜の鐘 岸 繁司
言い伝え 川村 淳二
陶器山の七不思議 下谷 佐吉
櫻井先生と久米田池に関わる伝承

佐原 浩二

「昭和」の時代を生きて(2)
—1945(昭和20)年8月15日 森井 淳吉
例会報告
11月例会報告
耳成山「万葉歌碑を巡るⅪ」下谷 佐吉
12月例会報告
国立民族学博物館の参観 植田 敏義
1月例会報告 生駒山西麓散策
と石切神社参拝 光田 三生
2月度例会報告 ノリタケの森
・トヨタ産業技術記念館見学
(バスツアー) 川村 淳二

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇556 2015.4 B5 22p
織田の陣屋跡を訪ね、山の辺の道
を歩きます(5月・第619回例会の
ご案内)／6月・第620回例会の予
告／セミナーなどのご案内／受
贈図書・資料／城郭ニュース
3月・第617回例会の報告
備前 天神山城 森田 又一
会員通信
大阪夏の陣 道明寺合戦記念碑
平川 大輔
大坂城における 池田備中守長
幸の刻印の拓本(承前) 多賀 左門
新聞記事紹介
◇557 2015.5 B5 22p
今まで知らなかった「和歌山城」
を訪ねます(6月・第620回例会の
ご案内)／7月・第620回例会の予
告／セミナーなどのご案内／受
贈図書・資料／城郭ニュース

4月・第618回例会の報告
美濃 関ヶ原合戦陣所 森田 又一
会員通信
私も行きました鎌刃城に 水品 弘樹
城は本当に美しいのだろうか 川端 義憲
大坂城における 池田備中守長
幸の刻印の拓本(承前) 多賀 左門
新聞記事紹介
◇558 2015.6 B5 22p
美濃 揖斐城と墨俣城を訪ねます
(7月・第621回例会)／8月・第
622回例会の予告／セミナーな
どのご案内／受贈図書・資料／
城郭ニュース
5月・第619回例会の報告 織田の
陣屋(柳本・芝村)跡を訪ね、山
の辺の道を歩く 木下 修二
会員通信
信濃守護小笠原氏城跡探訪記 川端 義憲
大坂城における 池田備中守長
幸の刻印の拓本(承前) 多賀 左門
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/
◇327 2015.4 B5 12p
考古学から見た継体大王の外交戦
略 福永 伸哉
読書室 『藤原鎌足と阿武山古墳』
神戸市灘の古墳と神社を訪ねる 古高 邦子
◇328 2015.5 B5 12p
継体大王をめぐる研究の現状と課
題 水谷 千秋
葛城市中部の史跡を訪ねる 山口 久幸
◇329 2015.6 B5 16p
継体大王登場前後の出雲とヤマト

政権について 仁木 聡
新沢千塚と周辺の史跡を訪ねる 引田 英治
第27回定期総会報告
会長就任のご挨拶 小川 滋
読書室 前方後円墳と東西出雲の
成立に関する研究—古墳時代中
期における出雲の特質 島根県
古代文化センター版

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp
◇78 2015.4 A4 12p
巻頭言 歴史資料ネットワーク結
成20年にあたって 奥村 弘
大阪市公文書館 秋の展示「大阪
の災害～復興と防災のあゆみ～」
を開催して 北嶋奈緒子
学生による震災パネル展
記憶から歴史へ～阪神・淡路大
震災を知らない世代の取り組
み 吉川 圭太
震災展示を通して 跡部 史浩
震災展示を通して
イモジェン・ジェローム
ふくしま史料ネットの被災資料記
録整理作業に参加して 藤田 明良
シンポジウム「災害史を研究し続
けること、史料を保存し続ける
こと—新潟地震50年・中越地震
10年」に参加して 天野 真志
文化財防災ネットワーク推進事業
について 吉原 大志
速報 全国史料ネット研究交流集
会を開催しました 吉原 大志
「地域歴史遺産」の保全・継承に

向けての神戸宣言
◇79 2015.6 A4 12p
巻頭言 私の委員としての活動の
経緯と現下の課題 前田 結城
歴史資料ネットワーク設立20周年
記念「全国史料ネット研究交流
集会」 川内 淳史
レポート
展示会とワークショップ
兵庫県立美術館「阪神・淡路大
震災から20年展」と水損資料
保全ワークショップについて 江上 ゆか
兵庫県立歴史博物館 特別企画
展「災害と歴史遺産」と水損
資料修復ワークショップ 前田 徹
宮崎県総合博物館で開催した文
化財レスキュー展とワークシ
ョップ 永友 良典
水損史料の応急処置のワークシ
ョップに参加して 古林小百合
参加記
第9回地域史卒論報告会に参加
して 安浪 皓星
兵庫県歴史講演会「震災から70
年、震災から20年」 水本 有香

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇565 2015.4 B5 8p
平成27年度定例総会／西宮史談会
発足百年記念講演会「西宮と文
化協会の歩み」山下忠男
西宮市制施行九十年と西宮文化協
会百年の歩み 山下 忠男
寛政改革と清酒の歴史 大浦 和也
「西宮」保存箱、玉手箱(16)

一情報公開課資料より 豊田 みか
平成27年(4月～6月) 美術館・博
物館等展示の御紹介
◇566 2015.5 B5 8p
5月行事 関西学院大学博物館及
び図書館見学
平成27年度 ごあいさつ 山下 忠男
平成26年度 事業報告／平成27年
度 事業計画
西宮文化協会 会則
「西宮」保存箱、玉手箱(17)
一情報公開課資料より 豊田 みか
3月行事・古野電気(株)本社見学
会の御報告
◇567 2015.6 B5 8p
6月行事「西宮 保存箱 玉手
箱」展と、思い出話しの集い
「西宮 保存箱 玉手箱展と、思い
出話しの集い」について 豊田 みか
郵便物に見られる消印の「西ノ宮」
と「西宮」 藤田卯三郎
「西宮」保存箱、玉手箱(18)
一情報公開課資料より 豊田 みか
西宮神社境内の石造物「歌碑」

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇309 (54-2) 2015.4 A5 48p 600円
《特集 明治の神戸で活躍した三田の偉人》
羽柴秀吉の筑前守返上と織田信長
一ブラック企業織田政権の悲哀 依藤 保
特集「明治の神戸で活躍した三田
の偉人」 三田市郷土文化研究会
三田藩の財政改革と教育の振興に
務めた白洲退蔵 高田 義久

研究ノート 三田藩士族・杉田家
由緒 我が国初の心理学者・元
良勇次郎の出自 北上 真生
幼児教育の開拓者達 種村 好
わが神職累代の記(7) 父のこと(2)
風の中の青春一俳句、そして室
戸台風。 上村 武男
歴史資料ネットワーク設立20周年
全国の団体が交流集会 地域歴
史遺産継承へ神戸宣言
特別企画 内橋久人氏講演会 戦
後70年を抱きしめて―「再びの
暗い時代」を許さない
神戸・阪神歴史講座 第13回 戦
後70年企画 戦争の歴史を記録
し伝える
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事(12年9月28日～11月
28日)
◇310 (54-3) 2015.6 A5 49p 600円
《特集 ひょうごの古代史を見直す》
平清盛大功田の目的はなに
一播磨国印南野を中心にして 中島 豊
随想 在原朝臣行平年譜考 木南 弘
都下国造と摂津渡辺党一地名「渡
辺」を新しい苗字にした古代の
名族、都下国造 羽床 正明
わが神職累代の記(8) 父のこと
(3) 生と死の昭和十年代一妹
の死、結婚、そして村やしろの
神官へ。 上村 武男
歴史資料ネットワーク設立20周年
記念シンポジウム 被災史料保
全の広がりを考える
神戸・阪神歴史講座 第13回 戦
後70年企画 戦争の歴史を記録
し伝える
姫路城の戦前・戦中・戦後 関連

イベント 姫路空襲体験を聞く
会
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事(12年11月30日～13年
1月13日)

◆日本文化史研究 日本文化史学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊
◇46 2015.3 A5 131p
歌川広重と竜田川の景観―『六十
余州名所図会』の旅景色 大矢 良哲
奈良の八重桜考 赤田 光男
南紀地方における森神信仰と聖地
一特に里神・地主神・矢倉神信
仰とその構造について 裏 直記
いわゆる“山陰型甕形土器”の基
礎的研究一分類と変遷を中心に 西垣 遼
東大寺法華堂不空羂索観音の宝冠
について一玉とガラスによる宝
冠の荘厳を中心に 菊池 いし
資料紹介
谷崎潤一郎書簡二点 中島 一裕
法具絵図考(2)―『三宝物具鈔』
所載法具について 関根 俊一

◆紀南・地名と風土研究会会報
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483
年2000円 1985年創刊
◇54 2015.4 B5 24p
表紙 開通直後の紀勢西線(昭和7
年) 田辺市稲成町付近
紀州航路のあゆみと紀南地方 角 克明
そもそもの「牛馬童子」 鳥越 義弘
絵葉書に見る熊野風景百年(5) 中瀬古友夫

熊野市及び南牟婁郡の四臂庚申塔
堀 敏実
『先人の知恵 災害と地名～減災
への道しるべ～』を出版して 田中 弘倫

◆熊楠研究
南方熊楠顕彰会
〒646-0035和歌山県田辺市中屋敷町36
南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909
1999年創刊 http://www.minakata.org
◇9 2015.3 A5 256p 3000円
『熊楠研究』の復刊について
『熊楠研究』編集委員会
南方熊楠と『ポピュラー・サイエ
ンス・マンスリー』 橋爪 博幸
南方熊楠と時代を覆う「ヒステリ
ー」の影―「ロンドン拔書」に
読む19世紀精神医学の潮流 加納由起子
南方熊楠『蛤の草紙』論の構想 伊藤 慎吾
南方熊楠と野長瀬忠男の神社合祀
反対・神社林保存運動―近野村
の社会構造を踏まえつつ 道明 熙
南方熊楠宛て江聖聴書簡について
譚 璐美
南方熊楠の『ノーツ・アンド・ク
エリーズ』誌への投稿(1)
―1899～1915年 志村 真幸
資料紹介 南方熊楠顕彰館蔵 南
方熊楠・岡茂雄往復書簡資料に
ついて 広川英一郎／岸本昌也／田村義也
書評 『南方熊楠英文論考〔ノーツ
・アンド・クエリーズ〕誌篇』 菊地 暁
南方熊楠蔵書中のハーバート・ス
ペンサー著作に見られる書き込
み 松居 竜五
南方熊楠英文未刊行論文草稿「ペ
ルー海岸に漂着した日本人遭難
者」「ガマの油」ほか 田村義也／志村真幸

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇197 2015.4 B5 2p
総会は6月6日(土)／研修講演会
6月6日(土)／「歴史探訪スケー
ル」開講／熊野の歴史を読む会
／『近世熊野の民衆と地域社会』
／『絵解き台本集』DVD付

◆国際熊野学会会報
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮
市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇23 2015.5 B5 4p
国際熊野学会十周年を迎えて
―東京事務局のひとりとして 林 雅彦
常任委員選任のお知らせ／お知ら
せ 合同例会 IN 立山(予定)、
東京例会 with 花祭り(予定)
2015年度国際熊野学会熊野大会
「聖地からの再生」

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇68 2015.4 A5 50p
今高制の知行取米(下) 廣本 満
和歌山県紀美野町志賀野地区の信
仰 藤井弘章／谷川公浩
高野山の三角五輪塔 武内 雅人
赤楽茶碗(銘一福祿寿)の作者につ
いて 中村 貞史
彙報 和歌山地方史研究会の活動

中国・四国

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811 1995年創刊
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html
◇40 2015.3 A5 45p
先秦時代の「鬼」について―梁伯
戈・小孟鼎の銘文を中心に 藤本 直子
元禄・天保竹島一件と竹島＝独島
の領有権問題 朴 炳渉

◆郷土石見
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇98 2015.4 A5 151p 1200円
《中村ブレイス 石見銀山文化賞受賞記念号》
表紙写真 「石州和紙の郷」(浜田
市三隅町) 石州和紙会館
戦後直後の浜田市の世相
一昭和21年7月から22年6月 吉田 豊明
佐毘売山神社から語る石見銀山発
見前史(下) 長尾 英明
中世の津和野
一吉見氏の歴史をたどる 山岡 浩二
柿本人麻呂と万葉集(1)
一その歴史学的考察 安達 肇
中世の石見国波根郷について(下) 池田 誠一
漢詩人 劉無著の遍歴とその詩情 児高 房夫
浜田の映画興行史
一山藤興行のあゆみ 山藤 克忠
「白挽き歌」あれこれ 酒井 董美
銃後の少国民 鈴木 博也
日原の石仏―匹見越えをたどる 内谷 知
町から村から
石見の博物館を訪ねて(3) 森脇 晋平
古里の郷土室(余録) 敬老会 大矢 幸子

資 料
佐々田懋は和紙の分野で何を残
したか 中 政信
邑智郡日和村の由来 (3)―『出
雲国風土記』から『石見国風
土記』を推理 久守 藤男
追悼記
児高房夫前会長を悼む 岩町 功
児高房夫前会長を偲んで 岡原 良夫
お知らせ 中村ブレイスの「第8
回 石見銀山文化賞」受賞者が
決定しました！

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
◇182 2015.3 B5 56p
復刻 荒木肇筆『大社のテニス』
1 (明治草創期編) 馬庭 孝司
西六国民学校疎開児童の宿舎と児
童数 編集部
「山陰両県へのB29による機雷投
下」と出雲大社部への影響 高塚 久司
沖ノ御前(弁天島)に弁天さんを祀
るようになったのはどうしてか
? 山崎 裕二
出雲弁よもやま話―あどなし三話 村上 清子
読者コーナー 編集部
消えゆくもの(46)―口伝 春木 芳子
日本海運史料(12) 出雲国鷺浦庄
屋共有文書 御城米 御用荷物
雲州神門郡鷺浦入津改帳 藤澤 秀晴
日置風水の紀行文
『隠岐のすさび』を読む(8) 山崎 隆司
企画展 入り海の記憶―知られざ
る出雲の面影 古代出雲歴史博物館

アテンダントのご縁物語(6)―平
成ご縁まち物語～歴博フェイス
ブックから 川瀬美香／園山順子
出雲弥生の森博物館 ギャラリー
展 しかくらやまー大社の学校
の地下に眠る遺跡 出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季 杵築の文芸活
動「江戸中期編」 佐々木杏里
平成26年10月～12月出雲市大社町
年表 編集 部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇54 2015.4 A4 10p
関ヶ原の宇喜多勢は「兒」の旗印
ではなかった(2) 小川 博毅
直家の見た夢 皆木 依耿
物語直家記伝 西大寺辺の城
第24回 自立(2) 山重十五郎
平成27年度宇喜多家史談会総会記
念講演(レジュメ) おふく様の
生き様 杉山 真子
会員サロン 宇喜多氏関連遺跡の
写真展(5) 津下 誠二
平成27年度 宇喜多家史談会総会
報告 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156
年1500円 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇135 2015.5 B5 48p

中世港湾都市備前国片土の「年寄
中」と浦上氏権力 畑 和良
戦国期大内氏と岡山県地域の諸勢

力の関係一備中国を中心に 魚屋 翔平
参加記 歴史資料をいかに守る
か、歴史資料をなぜ守るか―全
国史料ネット研究交流集会に参
加して 上村 和史
歴史談話室 公卿会議(陣定)と受
領功過定の評価―東大日本史入
試問題の意味 辰田 芳雄

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から

岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市北区石関町2-1
TEL086-233-2505 1982年創刊
◇34 2015.3 A5 269p
山陽放送のあゆみ 原 憲一
閑谷学校に託した津田永忠のこ
ろ 竹内 良雄
身近な自然をまもり残すために
―重井薬用植物園の五十年 片岡 博行
備中漆・林原の支援を受けて
―私なりにわかったこと 小野 忠司
第12回おかやま県民文化祭参加
第4回おかやま文化フォーラム
「今、中世の実像を求めて」
基調講演「今、中世の実像を求
めて」 久野 修義
事例発表「中世社会の生存環境」
西尾 和美

事例発表「考古学から見た中世
の村・館・城―鏡野町久田遺
跡群の発掘調査―」 弘田 和司
パネルディスカッション「今、
中世の実像を求めて」
久野修義／西尾和美／弘田和司

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円

okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇214 2015.5 B5 15p
永原順子氏 文部科学大臣表彰受賞
11月例会報告 11月例会発表要旨
岡山におけるアマテラス信仰に
ついて 田中 愛弓
2月例会報告 2月例会発表要旨
土佐におけるカップについて 永原 順子
イギリスのナゾナゾ 橋内 武
平成26年度・第44回岡山民俗学会
賞選考委員会について
平成27年度役員会(第1回)開催
〈平成27年度総会・研究発表大会報告〉
総会報告
平成27年度記念講演内容について
吉原 睦
平成27年度研究発表大会発表要旨
新しい型の昔話『桃太郎』 立石 憲利
墓標をめぐる俗信
―墓標打ち欠きの研究史 角南聡一郎
赤沢文治(金光教教祖)の信仰に
浮かぶ金神と天照皇大神 白石 淳平
美咲町の民家についての報告 野田 和心

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市北区石関町2-1
TEL086-233-2505

◇137 2015.3 A5 14p

随 想
遠い記憶 三ツ木 茂
岡山県の歌 信朝 寛
岡山の人物 佐々木盛綱 北村 精三
岡山の自然
阿哲台と生きものたち 杉 秀樹
岡山の文化財
山陽本線三石金剛川拱渠 小西 伸彦
わが町・わが村の自慢 亀山公園

(展望台)(瀬戸内市牛窓町)
ふるさとの想い出
中原の水防高石垣(岡山市北区)
会員だより 私と岡山後楽園
―延養亭で尺八を奏でる 小林 豊樹

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇295・296 2015.4 A5 87p 1200円

《特集 戦前の広島における洋学の普及》
特集にあたって
『呉新聞』にみる呉海兵团軍楽隊
―大正十三年から昭和六年まで
に焦点を当てて 竹下可奈子
広島女学校音楽部の活動に関する
一考察―『米国南メソジスト監
督教会年報及び議事録』を中心
に 光平 有希
大正から昭和初期における丁未音
楽会の活動―新聞・写真・私家
版『廣島の音楽五十年未定稿』
の分析を中心に 大迫知佳子
広島の洋学普及における放送メデ
ィアの役割―広島中央放送局開
局時にみられる学校音楽教育界
とのつながり 能登原由美

コメント・質疑応答

大会記事(2014年度)

研究発表要旨

中国山地の囃し田における所作
の歴史的展開について 松井今日子
藤井清水とふるさと広島 梶山 俊二
音楽教育家 坊田かずまの生涯
坊田 謙治

新刊紹介 岡山大学附属図書館貴

重資料観光推進会編『朝鮮通信

使響応関係資料』上・下巻 鴨頭 俊宏
 動 向
 新聞記事から(2011年7月～12月)
 広島県の地方史研究
 芸備掲示板 収蔵文書展 広島藩
 士三好家文書展―三好長慶から
 信長・秀吉・浅野長勲まで
 広島県立文書館
 史跡をあるく
 本因坊秀策の墓 笠井今日子
 ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 bingo-history.net
 ◇183 2015.4 A4 24p
 備後国衆馬屋原氏に関する新知見
 田口 義之
 中世石造物の調査報告
 山手銀山城測量調査報告
 備後史 100Photo
 P3 社日の風景
 カンタン 山城鳥瞰図 最終回
 相方城を描く(3) 山岡 佑佳
 古墳講座
 土器からよむ古墳社会(1) 網本 善光
 宮三河守家について 木下 和司
 辻堂百景(1)
 福山市藤江町通畑「地藏堂」 秋山 由美
 備後史談 地神碑について 岡田宏一郎
 郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
 (10) 仁井川沿いの天満池周辺
 種本 実
 例会報告 バス例会「宇喜多氏の
 城郭に行く」、ぶら探訪28「井
 笠鉄道神辺線跡を歩く」
 大分便り 芥川龍之介作、芋粥を
 紐解けば 後藤 匡史
 近世・近代史部会便り 「近世福

山を読む」第24回～第25回要旨
 高木 康彦
 歴史語り 怨霊の神から学問の神
 へ 菅原道真の転進(1) 根岸 尚克
 山城レポ
 越前の山城 村岡山城跡 末森 清司
 ◇184 2015.6 A4 20p
 「なぜ」京都泉涌寺に備後宮氏の
 書状が伝わったのか 田口 義之
 山手銀山城測量調査報告
 備後史 100Photo
 P4 福山城下町場境
 近世福山の歴史講座 福山城下町
 高木 康彦
 古墳講座
 土器からよむ古墳社会(2) 網本 善光
 例会報告 親と子の歴史ウォーク
 野母 寿子
 4月4日(土) ぶら探訪29「城下町
 散策 in ふくやま」
 会員短信 後藤匡史さん
 郷土探訪 備後の道を歩く(1)
 国境碑について 岡田宏一郎
 備陽史聞き語り
 加茂町 横峰大師堂の由緒
 辻堂百景(2) 福山市駅家町「小
 砂阿弥陀地藏堂」 秋山 由美
 山城レポ 越前の山城 戌山城跡
 末森 清司
 歴史語り 怨霊の神から学問の神
 へ 菅原道真の転進(2) 根岸 尚克
 ◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊
 ◇96 2015.4 A4 12p
 遺稿 『三良坂町中世史料総覧』

(その2) 新祖隆太郎
 三次盆地の前方後円墳(8)
 五反田第六号古墳―調査報告 加藤 光臣
 史料紹介 御用状の回達 立畑 春夫
 「願解き」奉納相撲 中畑 和彦
 祝 表彰／三次地方史研究会 平
 成26(2014)年度事業報告
 ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
 鈴木方 年3600円
 ◇289 2015.4 B5 12p 100円
 今月の各地 学制改革(旧市の新
 制高校の誕生) 大谷 和弘
 広島県三原市磨崖和霊石地藏(2)
 一小早川茂遠と念心 福井 万千
 興安丸と私 桧山 幸三
 若丸山城の謎(2) 大谷 和弘
 とくじゅまる物語7
 「むすめふさほせ」 下西 勝彦
 ◇290 2015.5 B5 12p 100円
 今月の各地
 三原讃歌パート2 錨と私 大坪 和生
 広島県三原市磨崖和霊石地藏(3)
 一小早川茂遠と念心 福井 万千
 レキカン春のハイキング感想文
 レキカン春のハイキング「佛通
 寺方面の散策」に参加して 桧山 幸三
 「佛通寺方面の散策」に参加して
 高杵 勉
 春のハイキングによせて 松竹 絃征
 ◇291 2015.6 B5 12p 100円
 今月の各地
 水無月(みなづき)「水の月」 行長 啓三
 広島県三原市磨崖和霊石地藏(4)
 一小早川茂遠と念心 福井 万千
 平成27年度総会並びに記念講演会
 報告 鈴木 健次

若丸山城の謎(3) 大谷 和弘
 とくじゅまる物語8
 「まくわうり・わりざん」 下西 勝彦
 ◆徳島県立博物館研究報告
 〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
 化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1991年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇25 2015.3 B5 89p
 愛媛県岩松川水系の魚類相 辻 幸一
 剣山系の蛾類(2)―2010～2011年
 の調査結果 広渡俊哉／小林茂樹／池内
 健／長田庸平／山田量崇
 香川県のモウコタンポポ 小川誠／久米修
 アサギマダラの移動に関する徳島
 県の記録(2014年) 大原賢二／山田量崇
 阿波国那賀郡富岡町吹田家文書に
 ついて―吹田家本陣関係文書の
 紹介と翻刻 松永 友和
 愛媛県西条市中山川からのシラウ
 オ(サケ目シラウオ科)の記録
 清水孝昭／久米洋
 徳島県産クジュノガリヤス *Cal*
amagrostius×microtis (Ohwi)
 Ohwi(イネ科)についての雑記
 茨木 靖
 ◆徳島県立博物館ニュース
 〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森
 総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇99 2015.6 A4 8p
 アダンソンキナエビス
Entemnotrochus adansonianus
 バミューダ諸島産 中尾 賢一
 Culture Club 未知の大地 ミヤ
 ンマーの花々 茨木 靖

特別展示 シェルズー貝類の現在
と過去をさぐるー
館蔵品紹介
絵はがき「徳島名物盆踊り」 磯本 宏紀
情報ボックス 阿南市北の脇海岸
に埋められていた古銭 高島 芳弘
Q & A 高野山に、徳島から運ば
れた石碑があるそうですが、ど
んなものですか？ 長谷川賢二

◆伊予史談 伊予史談会
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇377 2015.4 A5 47p 750円
江戸時代の遊行上人と宝巖寺 田中 弘道
古文書から西条の宝永地震を振り
返るー地震発生と、その後の災
害、復旧の記録 加藤 正典
仙波太郎と「教育」 田所軍兵衛
新刊紹介 川東埤弘著『帝国農会
幹事岡田温(下巻)——九二〇・
三〇年代の農政活動』 編集部
郷土その日その日 編集部(柚山俊夫)
報告 第七回四国地域史研究連絡
協議会(徳島大会)参加報告 永井 紀之
例会記事 第1195回～第1197回
山崎善啓先生を悼む 高須賀康生

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇182 2015.5 B5 61p
表紙説明 坂本乙女像(龍馬の生
まれたまち記念館) 松下 政司
秦の昔話(43) 秦泉寺の巻 夜行
(ヤキョウ) (『こうち童話』か
ら) 永野美智子
京都の不思議な三柱鳥居 広谷喜十郎

岡三所神社 松本 紀郎
土佐路の野口雨情(12) 溝渕 匠
秦・史跡めぐり余滴(14)
一島崎蜜柑園
百一年目の出会いー靖国神社にて
毛利 俊男
お龍さん雑録(5) 龍馬、皇后の
夢枕に立つ／お龍の死亡 岩崎 義郎
近江屋事件百五十年に向かって
(4・終) (六)二人の公用人 山路 洋
秦・史跡めぐり余滴(15)
ー「森徳酒造」 (松本)
大町桂月、吉井勇、永瀬潔の関係
鍋島 静一
汗見川(1) 和田 豊子
家康の人物像を生涯を通して考え
る(続) 笹原 保博
新聞から「龍馬変えた砲台 品
川に復活ぜよ」(『東京新聞』20
15年2月27日) 彦坂 徹
「所感雑感 2対8の法則」郷土
史研究家 原田英祐(『高知新
聞』2015年2月16日より)
清流物部川と美良布の幼少年期 千頭 将宏
戦史24 陸軍中野学校の秘密ー捕
虜となっても生きつづけよ 毛利 俊男
クロフネ来襲 松本 紀郎
岡村庄造氏拓本集から(35)

九州・沖縄

◆太宰府市公文書館報
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1
TEL092-921-2322 dasaifu.mma.co.jp
◇平成26年度 2015.3 A4 59p
《太宰府市公文書館 開館記念誌》
開館記念
あいさつ 井上 保廣
あいさつ 平島 鉄信

特別寄稿 太宰府市公文書館報
の刊行にあたって 高倉 洋彰
沿革／組織／建物・施設／記念
式典
平成26年度事業報告
資料受入・調査・選別・整理・
保存・公開／研究・教育普及
／活用／会議その他
報 告
アーカイブ・カレッジに参加
して 藤田 理子
全史料協第40回全国(福岡)大
会参加記 朱雀 信城
文化ふれあい館トピック展示
概要 太田黒真美

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1
TEL092-921-2322 2007年創刊
dasaifu.mma.co.jp
◇9 2015.3 A4 80p
太宰府市における行政文書の評価
選別について 藤田 理子
律宗系石塔からみた宰府最福寺に
ついて 高橋 学
古代大宰府木簡関連文献目録
川添昭二・重松敏彦共編
資料目録 中川家文書目録
資料紹介 宰府鑄物師平井氏の文
書についてー平井家文書・高嶋
家文書の紹介 朱雀 信城

◆浜木綿 五島文化協会
〒853-0052長崎県五島市松山町604-10
筑田俊夫方 TEL0559-74-2667
◇99 2015.5 A5 144p
特別寄稿ー調査報告(1)
五島における海軍の航空基地 深尾 裕之

随想二題 子弟句碑建立に向けて
(1)・「冬ぬくき五島の島…」考
筑田 俊夫
物語の背景に映るもの
ー小説・映画のなかの五島 大坪 昇平
「まさーかの友」 石田ちとえ
五島歳時記
「五島で撮られた名場面」 武羅井 高
「自然」という言語認識の定着過
程についての一考察(上) 中里 和彦
「ふるさと五島の宝と課題」をみ
んなのものに(上) 片山 圭弘
旅行記と手紙が描いた明治の福江
内海 紀雄
五島を通った遣唐使(2)ー養老の
遣唐副使藤原宇合と五島 櫻井 隆

◆国見物語 国見町郷土史研究会
〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-
1401 国東市教育委員会 国見分室
TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊
◇34 2015.4 B5 90p 1000円
巻頭言 恒久平和を願うから戦争
体験を語り継ぐ 末綱 巖
特集 戦争体験を語り継ぐ
伝える戦争の記憶 山口 宗人
竹田津小学校長の日記 昭和二
十年四月九日から八月一八日
まで 戸倉郁子／三重野友美(遺稿)
「昭和」私の戦時下体験(1) 寺川駿一郎
終戦前夜ー学徒動員 岐部 豊
松代象山地下壕を見学して 永井 輝生
語り継ぐ戦争 末松洋一郎
意味ある偶然か 岐部 豊
大蔵姓小串氏の研究(14) 小串 信正
鬼籠区天満社について(2) 末綱 巖
佐藤玄考永宗について 末綱 巖
大工・石工棟梁楠幸藏と萩原地に

ついて 末綱 巖
市外研修報告
ジオパーク姫島の旅 信原 敏彦
講演・その他
門弟・寺子屋墓標柱調査の報告 研 修 部
黒田孝高が辿った豊前・豊後を
訪ねて 末綱 巖
下藤キリシタン墓地調査からわ
かったこと 神田 高士
くにさきの神と仏 桜井 成昭
新春講演会 国東半島峯道ロン
グトレイル 高橋 誠一
コラム
武者絵と神社奉納絵馬像など 末綱 巖

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇147 2015.6 B5 114p
表紙写真解説
始良市の太鼓踊の特徴 所崎 平
沖永良部島の踊り 先田 光演
みんぞく・かわらばん
狛犬には角がある 所崎 平
民俗行事と物語性 トカラ列島の
ヒチゲー(日違い・日違え)―悪
石島を中心に 渡山 恵子
みんぞく・かわらばん
卵殻袋を鍋名主に 牧 民郎
トカラ列島生活と文化を訪ねて
(1)一口之島・悪石島・宝島 牧島 知子
二棟一戸建住宅の一例 牧 民郎
「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」―シャーマ
ンと「ウチノニョウサン(内の
如様)」(7) 森田 清美

資料 トカラ列島宝島の「稲作と
米の祭り」 下野 敏見
食の自分史前半(覚書) 本田 碩孝
霧島修験 愛甲家文書「異賊調伏
御祈禱日帳」読み書き(3) 森田 清美
みんぞく・かわらばん
「亀墓(亀跌)」 所崎 平
資料 安永二年 次渡日帳
川邊郷 前床重治・編
みんぞく・かわらばん
猪の目(ハート形♡) 2 所崎 平

◆季刊 沖縄 沖縄協会
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
エー・ゼットキュウブビル5階
TEL03-5803-2341 1996年創刊
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇48 (20・1・2) 2015.4 A4 52p
第165回沖縄問題研究会 対馬丸
沈没事件と対馬丸記念館 外間 邦子
亜熱帯沖縄の木や森や里山(5) 育
み育まれる里山のえにし(下) 新里 孝和
琉球列島先史・原史時代の世界的
価値―奄美・沖縄諸島を中心に
(2) 高宮 広土
第36回沖縄研究奨励賞
受賞記念講演
サツマイモ害虫ゾウムシ類の根
絶をもたらす基礎生態の解明
と防除技術の開発 熊野 了州
「紅型研究」の再構築―琉球紅
型のイメージとその実像 須藤 良子
沖縄県宮古島の地下水保全に関
する資源循環型総合研究―宮
古島の地下水を教育資源とし
た環境教育の実践 前里 和洋
沖縄を訪れて 佐藤 花
沖縄協会だより 東京事務所、沖

縄平和記念堂、寄金芳名欄、参
観校、寄贈図書
沖縄覚書 2014年1月7日～2014年
10月19日
戦後おきなわ写真館(3)
栄町市場(沖縄県那覇市) 嘉納 辰彦
表紙絵
イリオモテアザミ(キク科) 渡久 地健

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇208 2015.5 B5 8p
5月定例会レジュメ 海軍三一三
設営隊陣地壕跡の見学について 事 務 局
6月定例会レジュメ 宮古の戦争・
その四「疎開」 仲宗根將二
3月のまとめ「トックル元島」に
ついての報告―3月定例会を終
えて 下地 和宏
第40回定期総会開かれる 久貝 弥嗣
会報のデジタル化と活用への取り
組み
平成27年度子ども博物館 第1回
「昔の漁法～石巻落とし漁～」
の紹介 新田 由佳
『宮古島市総合博物館紀要』第19
号発行 與那覇史香
案内 2015年度沖縄考古学会(宮
古島大会)「いま、宮古の考古
学が面白い」～無土器期からグ
スク時代への変遷 久貝 弥嗣
「5.3憲法を語るつどい」辺野古阻
止・自衛隊配備反対 仲宗根將二
数多くの宮古関係論考
鎌田久子教授を悼む 仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要
〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
添1166-287 TEL0980-73-0567
◇19 2015.3 B5 210p
山北(宮原・高野)の集落と御嶽 長濱 幸男
空広(仲宗根豊見親)島主に陸る
―その背景を考える 下地 利幸
長南陣地壕群出土の木製品と保存
処理について 植村明男/久貝弥嗣
栗国家における旧暦三月三日の祈
願祭 新垣則子/佐藤宣子/本永清
村々の百姓役目について 下地 和宏
国内・国外におけるサシバの秋の
渡りとルートについて―標識調
査・衛星追跡調査 data の解析 久貝 勝盛
第二十八回企画展「クバものがた
り」調査研究報告 與那覇史香
回想の戦中平良(=宮古)のまちと
周縁―疎開・教育・暮らしの周
辺 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆郷土史の先覚 深澤多市 本編・補遺
青柳信勝・小田嶋道雄編 紫水先生顕彰会(〒
013-0011 秋田県横手市城西町4-8 龍昌院
内 TEL0182-32-0646) 2014年12月 A4
307・99頁 非売品
横手郷土史編纂会の生みの親である深澤多市
を顕彰した『郷土史の先覚 深澤多市』(平
成18年12月)を、その後の新たな関連史料な
どを追加した補遺とともに刊行。
〔本編〕序(渡邊喜一)／はじめに／講演 郷
土史開拓の恩人 深澤多市先生を憶う(渡邊
喜一)、秋田叢書を作った人達(富樫泰時)、
新秋田叢書を作った人達(田口勝一郎)／「神
戸小野寺氏文書」(龍昌院所蔵複写資料)の調
査報告(加藤民夫)／神戸小野寺氏文書―横手

市龍昌院所蔵の複写資料に接して(遠藤巖)／「神戸小野寺氏文書」解題／『高野山清浄院所蔵 仙北三郡過去帳』－『横手市史 史料編 古代中世』での翻刻に接して(遠藤巖)／写真で見る深澤関係資料／資料／編集にあたって(青柳信勝)／編集雑感(小田嶋道雄)〔補遺〕 まえがき／無量壽院の宝室 不動尊・矜羯羅童子・制多伽童子三幅對／高野山清浄院所蔵佐竹家石碑(墓銘石)写 渡邊喜一先生寄贈史料翻刻／酔経学舎と酔経学舎記 江戸期の秋田漢詩文訳読 第五集から、紫水(深澤多市)を見る／「秋田叢書」の家・上島崎のお婆さんの思い出 秋田魁新報 2012年12月18日付掲載(倉田鉄也)／深澤多市著「我が村の歴史」創刊号 復刻

◆文久元年 ある城下町の一年

一記録でたどる奥州相馬中村の幕末
鈴木清著 歴史春秋出版 (〒965-0842 福島県会津若松市門田町中野 TEL0242-26-6567) 2015年1月 A5 4000円
相馬中村城築城250年の節目の年でもあった文化元年(1961)における中村の武家・町家の暮らしを、吉田屋鈴木庄右衛門の手代源兵衛による『吉田屋源兵衛覚日記』を中心に、相馬中村藩の年譜『相馬藩世紀』、中村藩家老熊川兵庫胤隆の日記類『熊川兵庫日記』、二宮尊徳仕法の推進者による『富田高慶日記』の記事からたどる。詠みやすく条文を意識して収録し、適宜補注を付す。

◆續長久保赤水書簡集 現代語訳

高萩郷土史研究会編 (〒318-0034 茨城県高萩市高萩258-7 神永久米男方 TEL0293-22-4445) 長久保赤水顕彰会 (〒318-0103 茨城県高萩市大能341 佐川春久方 TEL0293-28-0405) 2014年11月 A4 149頁 1000円
伊能忠敬にさがかけて「改正日本輿地路程全図」を完成させた長久保赤水(1717～1801)の書簡110点を集めた高萩郷土史研究会の横山

功氏による『續長久保赤水書簡集』(2012年7月)の現代語訳。『續長久保赤水書簡集 現代語訳』の発刊に寄せて(橋本昌)／今後も赤水について私たちは学んでいく必要がある(小田本真代)／書簡ほど書き手の息吹を伝える史料はない(馬場章)／赤水先生と藩主治保公は固い絆と揺るぎない信頼で結ばれていた(草間吉夫)／世界に伝えたい百姓学者、長久保赤水(長久保片雲(源藏))／学問なき人は百年を経るとも生きたるかいはない(横山功)／續長久保赤水書簡集 現代語訳／関係資料編
◆泉石と雪の殿様－鷹見泉石ガイドブック 鷹見本雄監修 (〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘2-28-16 TEL042-374-2950) 市原敬子著 岩波ブックセンター (〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3) 2014年11月 A5 79頁 1000円

雪の殿様として知られる古河藩主 土井利位と鷹見泉石の足跡を、マンガと歴史コラム、解説によってたどる画期的なガイドブック。泉石、『愚意摘要』を完成／鷹見家の由来について／泉石と雪の殿様／崋山くんと樸／泉石と異文化コミュニケーション／泉石、古河に隠居となる／解説 最も早く世界の中で日本が歩むべき道を具体的に示した古河藩江戸詰家老・老中政治参謀役、鷹見泉石(鷹見本雄)／コラム

◆古文書解読集7

守谷古文書サークル編・刊 (TEL0297-45-2161) 2014年12月 A4 181頁
茨城県守谷市内に保存されている古文書の解読を中心に活動している守谷古文書サークルの古文書解読集第7集。検見の受け入れとその対応、諸寺社の大破等に対する勧化、風俗営業渡世への取締強化、御廻米蔵納の請負に関することなど、儉約、風俗取締り、金銀の扱い、鉄砲取調べ、酒造り、博奕取締り、初拵、御蔵納、小貝川水行見分等々、およそ60

件にわたる触書を取めた「御用」天保14年(1843)8月20日(赤法花村)を、影印版と解説文・読み下し文、用語の解説を付して収録。
◆近世の版本と史跡写真で味わう『おくのほそ道』 大田原市黒羽芭蕉の館平成26年度企画展図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊 (〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151) 2014年11月 A4 88頁
黒羽芭蕉の館の平成26年度企画展の展示図録。松尾芭蕉生誕370周年、没後320周年にあたり、平成22年から開催されている『おくのほそ道』を一文ずつ臨書し筆耕しながら読む講座「近世の版本で読む『おくのほそ道』」の成果もふまえて、所蔵本全54丁を釈文・語注とともに収録。あわせて『おくのほそ道』関連の史跡も紹介する。『おくのほそ道』の概要／近世の版本で味わう『おくのほそ道』／史跡写真で辿る『おくのほそ道』の旅

◆『新編武蔵風土記稿』を読む

重田正夫・白井哲哉編 さきたま出版会 (〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-4-6 TEL048-822-1223) 2015年1月 A5 255頁 2000円
文化7年(1810)に編纂事業が始まり、天保元年(1830)に完成した武蔵国約3000町村の地誌『新編武蔵風土記稿』全256巻の歴史や内容を、現代とのかかわりもふまえ詳しく解説するガイドブック。はしがき『新編武蔵風土記稿』への誘い(重田正夫・白井哲哉)／『新編武蔵風土記稿』を読む(大館右喜)／『新編武蔵風土記稿』のなりたち／『新編武蔵風土記稿』の記述に郷土を読む／『新編武蔵風土記稿』の挿図に郷土を観る／『新編武蔵風土記稿』を現代に生かす／附録『新編武蔵風土記稿』挿図目録

◆吉川市史 通史編1

原始・古代・中世・近世

吉川市史編さん委員会編 吉川市 (〒342-0055 埼玉県吉川市吉川1-21-13 教育委員会生涯学習課 市史編さん係 TEL048-984-3563) 2014年12月 B5 585+62頁 3000円
1997年から編さん事業が開始された『吉川市史』(全7巻)の第6回。原始から近世までの吉川市域の歴史を最新の史料をもとに編集。

第一編 水辺の生活(原始) 原始時代の自然環境、奥東京湾沿いの遺跡、水稻の始まり、川が運んだ遺物／第二編 低地を拓く(古代) 大化前代の葛飾、律令制下の葛飾、荘園・武士団と吉川、古代の仏像と神社／第三編 川津のまち(中世) 鎌倉時代の吉川、南北朝・室町時代の吉川、戦国時代の吉川／第四編 吉川と江戸を結ぶ川(近世) 近世の村の始まり、川や用水路の改修と水争い、変わりゆく農村、川を活かした農業と商い、村人の生活と文化、寺社と信仰、幕末期の村々

◆千葉のへんろ道 巡礼が地域経済に与える影響についての一考察

鈴木孝男編著 千葉商科大学人間社会学部鈴木孝男研究室 (〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1) 2014年11月 B5 58頁
2014年2月15日に千葉商科大学で行われたシンポジウム「千葉のへんろ道」での議論をふまえて、千葉のへんろ道と巡礼について考える。シンポジウム「千葉のへんろ道」報告書について(鈴木孝男)／巡礼と地域経済(鈴木孝男)／四国霊場と千葉のへんろ道(鈴木孝男)／江戸時代後期における庶民の生活と文化(村田一男)／新四国八十八カ所 衰微と復興の歴史(村上昭彦)／付図

◆江戸・東京 間違いだらけの地名の由来

祥伝社新書391
楠原佑介著 祥伝社 (〒101-8701 東京都千代田区神田神保町3-3 TEL03-3265-2081) 2014年11月 新書 283頁 840円
はじめに 江戸・東京地名考は間違いだらけ

／都心に江戸の名残を求めて／下町めぐりー
神田・日本橋から浅草方面へ／山の手北部
(本郷台・豊島台・赤羽台)の地名／山の手南
西部(淀橋台・目黒台・荏原台)の地名／墨東
に江戸～東京の発展を見る／ドサクサ紛れの嘘

有楽町は織田有楽斎の屋敷跡ではない、江
戸のゴミ坂はゴミ捨て場ではない、早稲田は
「早稲稲を植える田」ではない、本所七不思議
「おいてけ堀」

◆決定版 東京空襲写真集

アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録
早乙女勝元監修 東京大空襲・戦災資料セン
ター編 勉誠出版(〒101-0051 東京都千代
田区神田神保町3-10-2 ℡03-5215-9021)
2015年1月 A4 521頁 12000円

日本学術振興会科学研究費の助成をうけた共
同研究「戦争末期の国策報道写真資料の歴史
学的研究―国防写真隊と東方社を中心に―」、
「戦中・戦後の「報道写真」と撮影者の歴史
学的研究―東方社カメラマンの軌跡―」の成
果により集められた1692枚の写真の中から、
初公開となるものも含め1400枚超を集成した
東京への空襲の全貌を明らかにする決定版写
真集。詳細な解説と豊富な関連資料を付す。
解説(山辺昌彦)／第1章 1942年4月／第2章
1944年11月／第3章 1944年12月／第4章
1945年1月／第5章 1945年2月／第6章 1945
年3月／第7章 1945年4月／第8章 1945年5
月／第9章 1945年8月／資料 全空襲写真リ
スト、東京空襲一覧、本土空襲地域別死者数
諸調査、東京空襲区部死者数諸調査、区毎死
者・負傷者・罹災者数、仮埋葬地別合葬遺体
数一覧・個別埋葬遺体数一覧、東京の爆撃目
標施設、東京都区部被災地図、東京下町空襲
被災地図、東京空襲の追悼碑・供養碑・慰霊
碑マップ及び一覧／あとがき(山辺昌彦)

◆パリの皇族モダニズム

領収書が明かす生活と経済感覚
青木淳子著 KADOKAWA(〒102-8177
東京都千代田区富士見2-13-3 ℡03-5215-
7836) 2014年12月 B6 253頁 1500円
東京都庭園美術館所蔵の「受領證綴」を中心
とするさまざまな史料を通じて、1922年(大
正11)から1925年9月までの朝香宮鳩彦王・允
子妃夫妻のパリ滞在生活を紐解く。プロロー
グ 東京都庭園美術館に眠っていた新史料／
鳩彦王の留学一男やもめのパ／允子妃のパリ
ファッションと肖像写真／海を渡ったパリ滞
在中のポートレート／パリでの優雅な生活と
消費構造／外交官としての皇族／未来を見た
アール・デコ博覧覧と朝香宮邸／朝香宮邸竣
工と允子妃／エピソード 皇族モダニズム

◆日野市指定史跡 上人塚の調査

株式会社ダイサン編 日野自動車株式会社
(〒191-0003 東京都日野市日野台3-1-1)
2014年11月 A4 77頁
日野自動車株式会社日野工場内に所在する日
野市指定史跡「上人塚」の発掘調査報告書。
地域のなかの上人塚(渋谷芳浩)／地中レーダ
ー探査・試掘調査(渋谷芳浩)／上人塚発掘調
査の経過と概要(藤野修一・渋谷芳浩)／上人
塚の各段階と関連遺構(藤野修一・渋谷芳浩)
／遺物と出土状況(渋谷芳浩・黒尾和久)／調
査の成果―上人塚とその歴史(渋谷芳浩)／附
編―上人塚をめぐる 上人塚出土のキャプ
レターについて(鈴木孝)、日野台地の上人塚
と富士塚―黒塚築造の背景を探る(清野利明)、
上人塚とヤマアテをめぐる断想(金野啓史)、
上人塚と請人塚―その伝承をめぐる(渋谷
芳浩)／おわりに―上人塚の再評価

◆五箇山利賀谷 奥大勘場民俗誌

一藤井吉信翁・みち子嬪の語りから
森俊著 桂書房(〒930-0103 富山県富山市
北代3683-11 ℡076-434-4600) 2014年12月
B5 91+4頁 1800円

富山民俗の会で進められている共同調査の成
果のひとつとして、五箇山利賀谷最奥のムラ
である大勘場の民俗を聞き取りを中心にまと
めた「集落民俗誌」。『奥大勘場民俗誌』によ
せて(佐伯安一)／様々な生業／平野部との交
わり／雪の民俗あれこれ／食生活／身体を使
った遊び／生まれてから旅立つまで／年中行
事のこと／自然と寄り添って生きる／ムラの
言い伝えと民謡／藤井吉信家所有民具の復元

◆飛騨國小地誌 全(復刻版)

飛騨教育会編 岐阜県郷土資料研究協議会
(〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
内 ℡058-275-5111) 2015年1月 A4 64頁
飛騨教育会により明治27年(1894)3月に刊行
された原本(縦229mm、横155mm)を拡大して復
刻。小学校教員の参考資料として、『斐太後
風土記』『飛州志』『岐阜県統計表』などから
飛騨の地理上の要項をまとめた小地誌である。
凡例／目次／位置境界廣袤戸口／區劃／形勢
／氣候／山嶽／瀑布／川流／池沼／高原／耕
地／都邑／舊蹟／社寺／勝地／鑛泉／道路
附電信郵便／風俗人情／教育／生業／物産／
付図 飛騨国図

◆古戦場は語る―長篠・設楽原の戦い

新城市設楽原歴史資料館編 風媒社(〒460-
0013 名古屋市中区上前津2-9-14 久野ビル
℡052-331-0008) 2014年12月 B6 189頁
1200円

織田信長が天下統一に大きく進きかけとな
り、日本の歴史の転換点ともなった長篠・設
楽原の戦いの実像をわかりやすく紹介する。
新城市広報『はのか』の連載「歴史秘話―長
篠・設楽原の戦い」(平成23年4月～平成26年
3月)を加筆修正。刊行にあたって(穂積亮次)
／『古戦場は語る―長篠・設楽原の戦い』に
寄せて(金子拓)／長篠・設楽原の戦いとは？
／風になびく葦のごとく―合戦前夜の風景／
コラム 武田軍の目的は長篠城か／戦いの記

憶―人物のエピソードでたどる／コラム 鳶
ヶ巣山への奇襲攻撃の意味／コラム 奥平貞
昌か信昌か／クローズアップ 鉄砲のお話／
史料から戦いの姿を読む／本書の関連系図／
奥三河の戦国年表

◆舞鶴幼稚園130年のあゆみ

―受けつぐ文化遺産
東昇・舞鶴市立舞鶴幼稚園創立130周年実行
委員会編 京都府立大学文学部歴史学科文化
情報学研究室(〒606-8522 京都市左京区下
鴨半木町1-5) 2014年11月 A5 96頁
明治17年の創立で、現存する幼稚園では京都
府下最古の歴史がある舞鶴幼稚園の130年に
わたる歴史を、基調な文化遺産とともに紹介
する。現在の園舎と園歌／ご挨拶―創立130
周年を迎えて(水口裕子)／ご挨拶(多々見良
三)／舞鶴幼稚園創立130周年にあたって(佐
藤裕之)／創立130周年をむかえて(赤崎弘也)
／創立130周年をむかえて(小瀬木良和)／舞
鶴幼稚園資料の調査と意義(東昇)／舞鶴幼
稚園130年のあゆみ 年表／歴代園長／歴代育
友会・PTA会長／世界へはばたいオリ
ンピック選手／創立130周年記念事業／幼稚園
の文化遺産／幼稚園の思い出を語る

◆研究紀要 大坂城における池田備中守長幸 の刻印について

多賀左門著 日本古城友の会(〒577-0044
大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方
℡06-6652-4511／〒595-0024 大阪府泉大津
市池浦町2-9-3 川端義憲) 2014年12月 A4
38頁
大坂城再築における池田備中守長幸の分担丁
場／池田備中守長幸の丁場における刻印につ
いて(第一期普請、第二期普請(西内堀4706
号壁、西内堀4708号壁、西内堀4709号壁、西
内堀4710号壁)、第三期普請(南外堀8413号壁、
南外堀8429号壁))／結び

◆南木芳太郎日記三―大阪郷土研究の先覚者

大阪市史史料80
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2014年12月 A5 148頁 1800円
昭和6年(1931)に雑誌『郷土研究 上方』(昭和19年4月まで151号)を創刊し、「上方郷土研究会」を発足させた南木芳太郎(1882~1945)の日記『南木芳太郎日記』(全15冊、大阪市史編纂所蔵)より、昭和12年・13年分を翻刻する。南木芳太郎日記 昭和十二年／南木芳太郎日記 昭和十三年／解題 南木芳太郎の蔵書印(南木ドナルドヨシロウ)
◆『大阪経済雑誌』にみる 明治期大阪市電関係史料 大阪市史史料81
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(同上) 2015年1月 A5 128頁 1800円
大阪市史編纂所蔵『大阪経済雑誌』第拾四年(自壺号至臨時号)から、第7号(明治39年5月)、第8号(同年6月)、第9号(同年7月)、第10号(同年8月)に掲載された「大阪市営の電気鉄道」を中心に、一連の交通関係記事を翻刻する。大阪市営の電気鉄道(ロングベア)／大阪市営の電気鉄道(其二)(ロングベア)／大阪市営の電気鉄道(其三)(ロングベア)／大阪市営の電気鉄道(其四)(ロングベア)／大阪市営の電気鉄道に就て(其五)／参考一 市街鉄道論(法学博士 平佐純俊)(再6号)／参考二 大阪市の交通機関を論じて希望を述べ(大槻健次郎)(4号)／参考三 大阪市の交通機関を論じて希望を述べ(其二)(大槻健次郎)(7号)／参考四 思ひ出るまゝ(其四)(澁上漁史)(8号)／参考五 大阪市会議員の色分(8号)
◆上木屋文書 史料編1 三次地方史研究4 三次地方史研究会(〒729-4304 広島県三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753) 2014年11月 A4横 93頁

江戸時代には三次町で大年寄などを歴任した佐々木家(屋号 上木屋)に伝わる史料を紹介。佐々木家は中世末の盛王丸を祖とする尼子氏一族が名乗った名前で、この第1部にはその家系図などを収録する。史料についての整理(三次町大年寄助右衛門表彰される)／両家勤役覚／勤役覚／(畠中家系下調べのための第一稿)／神木屋家系／(公儀より御尋に付申し上げる書付)／町奉行所へ書付上ル控／内用書付／尼子盛王家系写／(佐々木神木屋家系)／(尼子氏系図)／凡例 畠中氏先祖の件／佐々木畠中家 文化二年／(畠中家絶家関係)／(畠中家絶家関係 内用書付)／(佐々木家)家系用覚書之下書／佐々木氏畠中家系／まとめ 『上木屋文書』を拝見して(藤村耕市)
◆広島県の考古学と文化財保護
一松下正司先生喜寿記念論集
「広島県の考古学と文化財保護」刊行会編・刊(〒729-4304 広島県三次市三良坂町三良坂809 加藤光臣方 TEL080-1912-9097／〒732-8509 広島市東区牛田新町4-1-1 比治山大学現代文化学部言語文化学科 志田原重人 郵便振替01390-4-109984) 2014年11月 B5 676頁 6000円
草戸千軒町遺跡をはじめとする広島県内の文化財保護・考古学研究の進展に多大な影響を与える松下正司氏の喜寿記念論集。
第一部 藤野次史・沖憲明・辻満久・和田麻衣子・尾崎光伸・桑原隆博・安間拓巳・加藤光臣・高下洋一・篠原芳秀・新谷武夫・中山学・濱岡大輔・山田繁樹・脇坂光彦・上重武和・松下正司・和田崇志・鈴木康之・松井和幸・沢元保夫・向田裕始／第二部 伊藤実・是光吉基・谷重豊季・西別府元日・妹尾周三・石橋健太郎・志田原重人・堤勝義・時元省二・福井万千・木村信幸・新祖隆太郎・中畑和彦・西井亨・福島政文・園尾裕・小都隆・後藤研一・桑田俊明・八幡浩二／第三部 市

田京子・上村和直・尾多賀晴悟・下津間康夫・永谷英成・中村芳昭・松崎哲・山縣元／第四部(松下正司再録論文・略歴・著作目録)
備後北部の古瓦—いわゆる「水切り瓦」の様相／水切瓦再考／古代寺院の発掘／草戸千軒町遺跡と博物館／埋蔵文化財の保護と課題／略歴／著作目録
◆伊東玄朴 佐賀偉人伝13
青木歳幸著 佐賀県立佐賀城本丸歴史館(〒840-0041 佐賀県佐賀市内2-18-1 TEL0952-41-7550) 2014年11月 A5 110頁 952円
肥前神崎郡出身で將軍主治医にまで栄達し、西洋近代医学の道を拓いた伊東玄朴の生涯を追う。蘭方医伊東玄朴への道／蘭方医伊東玄朴の活躍／佐賀藩の西洋医学教育と玄朴／種痘の普及と伊東玄朴／幕末・維新の元朴とその門流／象先堂門人姓名録、伊東玄朴関連年譜、伊東玄朴参考文献、伊東玄朴関連史跡
◆鹿児島県の石塔図録1
一中世 南九州石塔研究会40周年記念誌

四十周年記念実行委員会編 南九州石塔研究会(〒899-5215 鹿児島県姶良市加治木町本町419 松田誠方) 2014年12月 A4 230頁
昭和50年に「南九州古石塔研究会」として設立された南九州石塔研究会の40周年記念誌第1集。旧薩摩国・大隅国の石塔群の現況を中心に、これまでの調査・研究を集大成する。四十周年記念誌の刊行に寄せて(五味克夫)／四十周年記念区に寄せて(築地成郎)／四十周年記念誌出版に当たって(松田誠)／凡例・石塔ミニノート／南九州石塔研究会の先人 築地健吉、黒田清光、河野治雄／旧薩摩国・旧大隅国の石塔群の現況 祁答院氏菩提寺 鶴田大願寺の研究(池田純)、石塔とは(隈元信一)、鹿児島県の石塔の特徴について(西野元勝)／南九州石塔研究会の経歴 歴代会長、これまでの主な実績、会長・副会長等物故者、『南九州の石塔』発行年月日、南九州石塔研究会組織表、南九州石塔研究会会則、平成26年度会員名簿／編集後記(築地成郎)

◆後記—
前号続き。利根川文化研究会での報告で出席者の関心の高かったことは会運営、特に会員減少の話題であった。会員の高齢化、若手育成機能の低下、会員減少、会財政悪化など一連の構造を「デフレ・スパイラル」と呼んだのは静岡大名誉教授 田村貞雄氏(地方史研究会の衰退「東海近代史研究」30、2009.6)である。これは全国の郷土史研究団体が共通して抱える深刻な問題だ。1981年の筆者の調査では、会員数300を超える団体が全国に78あり、5000名近いものまであった。だが、現在は多くが半減以下であるばかりか、78のうち20余の団体が活動を停止している。その要因の一つに、事務局体制の弱体化が挙げられる。主要な担い手であった地元学校教員が、本務多忙から参加できなくなっている。そうした折に、山形県・新庄古文書の会「聴雪」19(2015.6)で、事務局長大場英一氏が同会26年の歩みを振り返り、創立以来の会員数と学習会出席者数、会員在籍年数、短期退会者の推移、及び現在の会員年齢構成を夫々グラフ化すると共に、学習テキストの分類点数の概略、歴代講師・会員一覧・役員名簿・役員在任年数などを一覧表示して会勢を分析しているのは大変に興味深い。その上で、会の円滑な運営を支えているものは何かを検証し、今後の課題(会運営、テキスト選定、若手・女性会員の勧誘等)と活動目標を具体的に提示している。このように数値化した分析は他にみることがない。同会は会員数32と小規模であり、それ故に運営もし易いのかかもしれないが、会の衰退に悩む全国の研究会の皆さんに、こうした検証・分析をしてみることをお勧めしたい。(飯澤)

